

National Agriculture and Food Research Organization

農研機構

品種2012



農研機構

NARO 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

農研機構 品種 2012

目次

米

おぼろづき	生産者向け	1
姫ごのみ	生産者向け	1
萌えみのり	生産者向け	2
あきだわら	生産者向け	2
にこまる	生産者向け	3
みずほの輝き	生産者向け	3
華麗舞	企業向け	4
越のかおり	企業向け	4
モミロマン	企業向け	5
ミズホチカラ	企業向け	5

麦類

ユメシホウ	企業向け	6
ふくほのか	企業向け	6
ゆめちから	企業向け	7
あやひかり	企業向け	7
カシマゴール	企業向け	8
白妙二条	企業向け	8
キラリモチ	企業向け	9
ユメサキボシ	企業向け	9

大豆

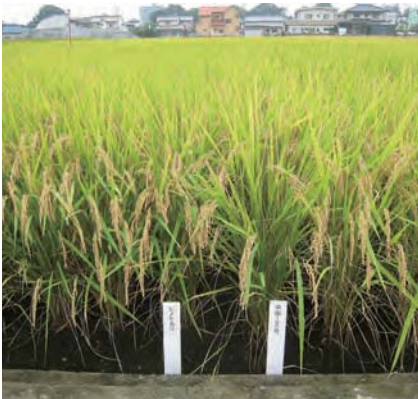
里のほほえみ	企業向け	10
はつさやか	企業向け	10
あきまる	企業向け	11
すずかれん	企業向け	11
フクミノリ	企業向け	12
すずほのか	企業向け	12

いも類

はるか	生産者向け	13
こがね丸	生産者向け	13
ノーザンルビー	企業向け	14
シャドーQueen	企業向け	14
ひめあやか	生産者向け	15
べにはるか	生産者向け	15
ほしキラリ	企業向け	16
こなみずき	企業向け	16

雑穀・工芸作物

にじゆたか	生産者向け	17
春のいぶき	生産者向け	17
とりいずみ	生産者向け	18
はとゆたか	生産者向け	18
黒海道	生産者向け	19
まるえもん	生産者向け	19
まるひめ	生産者向け	20
キラリボシ	生産者向け	20
さえあかり	企業向け	21
そうふう	企業向け	21



作物別見出しの色によって
仕向けが分かります

生産者向け品種

企業向け品種



果樹

もりのかがやき	生産者向け	22
早秋	生産者向け	22
なつしずく	生産者向け	23
つきあかり	生産者向け	23
シャインマスカット	生産者向け	24
西南のひかり	生産者向け	24
ぼろたん	企業向け	25
露茜	企業向け	25

花・野菜

花恋(かれん)ルージュ	生産者向け	26
ミラクルルージュ・ミラクルシンフォニー	生産者向け	26
札幌1号・札幌2号	生産者向け	27
おいCベリー	生産者向け	27
なつあかり	生産者向け	28
フェーリア	生産者向け	28
すずこま	生産者向け	29
TC2A	生産者向け	29
あのみのに	生産者向け	30
あきめき	生産者向け	30
ふゆわらべ	生産者向け	31
アンデスの乙女	生産者向け	31

飼料作物・緑化作物

たちすがた	生産者向け	32
たちすずか	生産者向け	32
べこごのみ・べこあおば	生産者向け	33
たちびりか	生産者向け	33
なつむすめ	生産者向け	34
しまのうしえ	生産者向け	34
優春	生産者向け	35
たちいぶき	生産者向け	35
ウシブエ	生産者向け	36
朝萌・朝駆	生産者向け	36

米	37~38
麦類	38~39
大豆	39~40
いも類	40~41
雑穀	41
工芸作物	41~42
茶	42
果樹	42~44
花・鑑賞作物	44
野菜	45~46
飼料作物・牧草	46~48

品 種 リスト集

(開発品種の
紹介ページです)

【おぼろづき】北海道での栽培に適した粘りが強い極良食味米

【特徴】

北海道での栽培に適した食味が極めて優れる品種です。

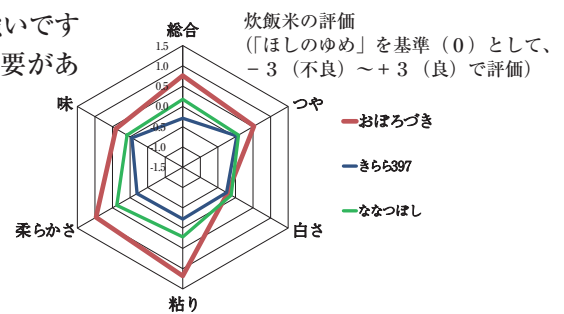
デンプン中のアミロース含有率がやや低く、炊飯米は「粘りが強い」「柔らかい」「つやがある」などの特徴があります。食味の総合評価は従来の北海道の品種を大きく上回ります。北海道米では最高水準の食味です。

熟期は「中生の早」で、出穂期および収穫期は「ほしのゆめ」とほぼ同じです。耐冷性は「強」です。いもち病抵抗性は「ほしのゆめ」よりやや強いですが、十分な強さではないので栽培にあたっては適正な防除を行う必要があります。

現在、北海道の奨励品種として普及しています。



「おぼろづき」の玄米と粉
(左：おぼろづき 右：ほしのゆめ)



■「おぼろづき」の特性

品種名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂数 (本/㎡)	精玄米重 (kg/a)	同左 比率(%)	玄米千 粒重(g)	玄米 品質	耐冷性	いもち病抵抗性 葉いもち 穂いもち
おぼろづき	8/01	9/18	66	544	46.4	96	21.5	中上	強	やや弱 中
ほしのゆめ	8/01	9/19	69	618	48.7	100	21.6	中上	強	弱 やや弱

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター
(代) (TEL 011-851-9141) (FAX 011-859-2178)
寒地作物研究領域 稲育種・品質担当
(TEL 011-857-9311)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画管理部 業務推進室
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

【姫ごのみ】「ヒノヒカリ」と同熟期で西日本で作りやすい低アミロース米

【特徴】

ウルチ米とモチ米との中間の粘りがある形質を「ミルクQueen」より受け継いだ低アミロース米です。炊飯米はもちもちとした食感で、粘りがあって柔らかく、食味は良好です。冷めてもおいしいことからおにぎりとしての利用にも適しています。

瀬戸内沿岸では中生の晩の熟期で、「ヒノヒカリ」と同じ熟期になります。倒れにくく、「ヒノヒカリ」より耐病性に優れるため、栽培しやすい品種です。

また、「ヒノヒカリ」と同等以上の収量が見込めます。外観品質は「ヒノヒカリ」より良好ですが、低アミロース米のため、玄米はわずかに白濁します。



「姫ごのみ」の粉と玄米
(左：ヒノヒカリ、右：姫ごのみ)



「姫ごのみ」の草姿
(左：ヒノヒカリ、右：姫ごのみ)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

近畿中国四国農業研究センター 水田作研究領域
水稲育種研究グループ
(TEL 084-923-5346) (FAX 084-924-7893)

●種苗の入手先について

近畿中国四国農業研究センター 企画管理部
業務推進室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

■「姫ごのみ」の品種特性（育成地）

品種名	出穂期 (月/日)	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/a)	同左 比率(%)	アミロース 含有率(%)	玄米品質
姫ごのみ	8/21	86	57.4	106	8.4	3.6
ヒノヒカリ	8/22	86	55.1	100	15.5	4.9

注)玄米品質：1(上上)～9(下下)

【萌えみのり】 東北地域で低コストの直播栽培が可能な良食味米

【特徴】

東北中南部では“中生の晩”に属し、「ひとめぼれ」と同程度の熟期の直播用水稲品種です。

稈長は「ひとめぼれ」、「はえぬき」より短く、倒れにくいことが特徴です。表面播種の直播栽培でも、転び型倒伏が「あきたこまち」より少なく、「はえぬき」と同程度で、収量はこれらより8～20%多収です。移植栽培、直播栽培のいずれでも「ひとめぼれ」並の良食味です。低温苗立ち性は「ひとめぼれ」などの一般品種と同程度です。

表面播種が可能なおから、鉄コーティング湛水直播技術に適しています。いもち病抵抗性が十分ではないため、適期に防除を行う必要があります。

現在、5県で産地品種銘柄になり、普及中です。



直播栽培での草姿(左:あきたこまち、右:萌えみのり)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
東北農業研究センター 水田作研究領域稲育種担当
(TEL 0187-66-2773)
- 種苗の入手先について
東北農業研究センター 業務推進室運営チーム
(TEL 019-643-3437)

■「萌えみのり」の直播栽培での稈長、倒伏と玄米収量

品種名	稈長 (cm)	倒伏 (0-5)	玄米収量 (kg/a)	同左比率 (%)
萌えみのり	65	1.4	63.1	108
あきたこまち	79	3.9	52.3	90
ひとめぼれ	83	3.6	56.8	97
はえぬき	72	1.4	58.3	(100)

注)倒伏:0(倒伏なし)～5(完全倒伏)。

【あきだわら】 多収で業務用に適した良食味米

【特徴】

多収で米の外観品質と食味の両方に優れることから良質な米商品として、業務用米等の用途が期待される品種です。

標準施肥栽培の「コシヒカリ」と比較して、同じ施肥量で玄米収量が1割、多肥栽培では3割多収です。玄米の外観品質は「コシヒカリ」と同等かやや優ります。炊飯米の食味は、標準施肥栽培と多肥栽培の両方で「コシヒカリ」に近い良食味です。耐倒伏性は「コシヒカリ」より優れます。

収穫期は「コシヒカリ」より11日遅く、関東平坦部では中生の晩の熟期で、栽培適地は関東・北陸以南の地域です。栽培にあたっては、「コシヒカリ」同様、いもち病と縞葉枯病に弱いので、適正に防除を行う必要があります。

平成23年度現在、福島、栃木、茨城、新潟の4県で産地品種銘柄になっています。

「あきだわら」の玄米(左:あきだわら、右:コシヒカリ)



「あきだわら」の水田(左:あきだわら、右:コシヒカリ)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
作物研究所 稲研究領域 (TEL 029-838-8536)
- 種苗の入手先について
作物研究所 企画管理室企画チーム
(TEL 029-838-8880) (FAX 029-838-7488)

■「あきだわら」の特徴

品種名	出穂期 (月/日)	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/a)	同左比率 (%)	玄米品質
あきだわら	8/14	80	64.4	113	中上
コシヒカリ	8/05	93	56.6	(100)	中中

【にこまる】西日本向きの暑さに負けないおいしいお米

【特徴】

玄米の粒張りが良く、高温年でも白未熟粒の発生が少なく、年次、地域を問わず「ヒノヒカリ」より品質が優れています。収量は高温年でも安定しており、ヒノヒカリより5～10%近く多収です。また精米するときの歩留り（搗精歩合）が高く、同じ量の玄米からたくさんの白米を得ることができます。

食味は、つやが良く粘りが強く、「ヒノヒカリ」と同等以上です。平成20～22年の「米の食味ランキング」で長崎産の「にこまる」が最高級の「特A」評価を連続で受けるなど、味の良さは折り紙付きです。

長崎・大分・静岡県で奨励品種として普及中で、11県で産地品種銘柄になるなど、「ヒノヒカリ」に代わる基幹品種になりつつあります。



高温年の玄米(上:にこまる、下:ヒノヒカリ)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 水田作・園芸研究領域
稲育種グループ (TEL 0942-52-0647)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 業務推進室
(TEL 096-242-7536) (FAX 096-242-7769)

■品種特性(育成地)

品種名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/a)	比較比率 (%)	玄米千粒重 (g)	玄米品質 1良-9否
にこまる	8/28	10/15	84	62.8	106	23.1	4.4
ヒノヒカリ	8/26	10/13	84	59.0	100	22.4	5.6

【みずほの輝き】極良食味で見栄えのよい米

【特徴】

食味が極めて優れ、粒が大きく、つややかな外観で、おにぎりや弁当用のお米としても最適です。

炊飯時の外観や食味の総合評価も、「コシヒカリ」を上回ります。熟期は、北陸では晩生であり、早生、中生の基幹品種との熟期分散が可能です。

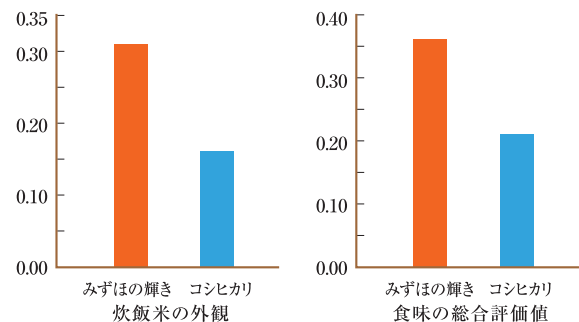
粒が大きく良食味の「北陸174号」と「中部98号」の組合せから育成されました。

「みずほの輝き」の籾と玄米

左:みずほの輝き
右:日本晴



官能評価による食味試験
数値が大きいほど評価が優れる



【問い合わせ先】

●品種の特徴について

中央農業総合研究センター 北陸研究センター
(代表)(TEL 025-523-4131) (FAX 025-524-8578)

●種苗の入手先について

中央農業総合研究センター 北陸企画管理室管理チーム
(TEL 025-523-4131) (FAX 025-524-8578)

■「みずほの輝き」の熟期と収量(育成地)

平成12年～19年の平均値

品種名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	精玄米重 (kg/a)	同上一比率 (%)
みずほの輝き	8/13	9/25	62.9	103
日本晴	8/15	9/26	61.0	100

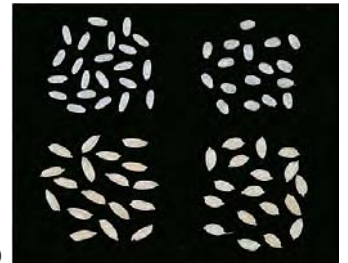
【華麗舞】カレーライスがよりおいしくなる米

【特徴】

「華麗舞」の炊飯米は、表面の粘りは少ないが、内部は「コシヒカリ」並に軟らかいという米飯物性を持ちます。

日本で市販されているとろみのあるカレールウと良く合、カレー用調理米飯としての用途が期待されます。

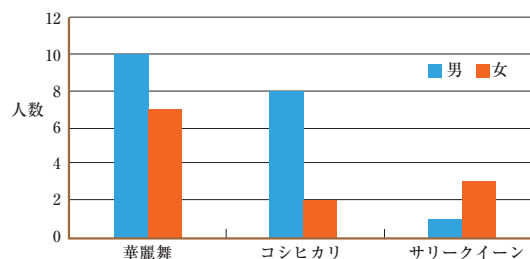
インド型品種「密陽23号」と日本型品種「アキヒカリ」の組合せから育成されました。



華麗舞の籾と玄米
(左:華麗舞、右:コシヒカリ)

■テンプレッサーによる華麗舞の炊飯特性
(食品総合研究所 平成16年度)

品種名	表層の硬さ	表層の粘り	粒全体の硬さ	粒全体の粘り
華麗舞	84.32	19.28	2.24	0.51
コシヒカリ	80.78	21.20	2.24	0.53



カレーライスによる食味試験結果

注)カレールウをかけた場合、最も美味しいと感じる品種を調査した。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

中央農業総合研究センター 北陸研究センター
(代表)(TEL 025-523-4131)(FAX 025-524-8578)

●生産物の入手先について

中央農業総合研究センター 北陸企画管理室管理チーム
(TEL 025-523-4131)(FAX 025-524-8578)

【越のかおり】粘りが少なく製麺素材に向く高アミロース米

【特徴】

白米のデンプン成分のうち、粘りの少ないアミロースの含有量が「コシヒカリ」よりはるかに高いことから、茹でても溶けにくく、麺離れが良いので、米の麺として新しい食感の商品ができます。

栽培特性は「キヌヒカリ」とほぼ同等なので、倒れにくく、選別・精米などには同じ調製方法が使えます。

関東から九州まで広く栽培されている品種「キヌヒカリ」に、インド在来イネの持つ粘りの少ない性質だけを取り込んだ品種です。

左:越のかおり
右:コシヒカリ



「越のかおり」を使った調理例

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

中央農業総合研究センター 北陸研究センター
(代表)(TEL 025-523-4131)(FAX 025-524-8578)

●生産物の入手先について

中央農業総合研究センター北陸企画管理室管理チーム
(TEL 025-523-4131)(FAX 025-524-8578)

■成分・特徴の比較

品種名	アミロース含有量 (%)	タンパク質含有量 (%)	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/a)	同左比率 (%)
越のかおり	33.1	6.2	75	62.9	96
コシヒカリ	17.5	6.1	90	65.4	100

注)アミロース含有量は平成18年度の成績、タンパク質含有量は平成17年度の成績

【モミロマン】加工用や飼料用に期待される多収穫米

【特徴】

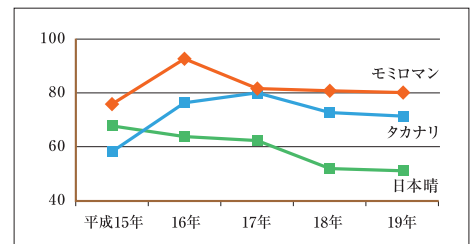
玄米の収量が極めて高く、低コスト生産が可能なことから加工用米や飼料用米に期待される品種です。特に、米のアミロース含量が一般米よりも高めで、米粉麺やビーフンの素材として期待されます。

通常の屑米も含めた粗玄米収量は「日本晴」より3割から4割、「タカナリ」より1割多く、極めて多収です。また、耐倒伏性に優れ、直播栽培でも多収なため、生産コストの削減が可能です。玄米の外観品質や炊飯米としての食味は著しく不良で、一般米と容易に識別できます。

栽培にあたっては、ベンゾピシクロン系除草剤に感受性のため、使用する除草剤には注意が必要です。

関東以西の地域での栽培に適し、現在、栃木県や茨城県などで生産されています。

「モミロマン」の玄米
(上:日本晴、下:モミロマン)



「モミロマン」の収量性 (作物研究所)

■「モミロマン」の特徴 (多肥栽培)

品種名	出穂期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	粗玄米重 (kg/a)	同左比率 (%)	玄米千粒重 (g)
モミロマン	8/15	89	23.5	82.3	138	24.1
日本晴	8/17	90	19.7	59.6	(100)	21.8

【問い合わせ先】

●品種の特徴・生産物の入手先について
作物研究所 稲研究領域 (TEL 029-838-8536)

【ミズホチカラ】米粉や飼料用に、多収で倒れにくい米

【特徴】

背丈が低く茎が強く倒れにくいいため、台風の多い九州に適しています。1本の穂に着くもみの数が多く、通常の食用品種よりも平均で2割も多くのお米が収穫できます。10aの田んぼから、800～900kgもの玄米が収穫できた例も多く、安定してたくさんとれる特性が実証されています。

米粉に製粉するときのデンプンの損傷が少ないため、パンのふくらみが良いなど、米粉用として優れた特性を持ち、熊本県で米粉用に作付けが始まっています。また豚やニワトリの飼料用としても、福岡県で生産が行われています。

ミズホチカラはあきまさりに比べ縦方向のパンの膨らみが良好



ミズホチカラの草姿



あきまさり (比較:主食用米)

■各地での多収事例

試験地・年次	粗玄米重 (kg/10a)	比較比率 (%)	対照品種
5 広島県福山市 (2008)	1007	-	-
月 富山県富山市 (2008)	839	120	コシヒカリ
植 茨城県つくばみらい市 (2001-08)	828	132	日本晴
6 香川県善通寺市 (1994-95)	926	138	日本晴
月 福岡県筑後市 (1992-94)	829	123	ニシホマレ
植 福岡県筑後市 (2008)	913	-	-

【問い合わせ先】

●品種の特徴・生産物の入手先について
九州沖縄農業研究センター 水田作・園芸研究領域
稲育種グループ (TEL 0942-52-0647)

【ユメシホウ】温暖地に適した早生・多収のパン用小麦

【特徴】

関東地域を含む温暖地で栽培出来るパン用小麦で、西日本で普及しているパン用小麦の「ニシノカオリ」より製パン性が向上しています。食パン、菓子パンなどのパン類の他、ピザ生地や中華麺にも利用出来ます。

品質の良いパンを作るためには小麦粉の蛋白質含量を高めないとはいませんが、「ユメシホウ」は蛋白質含量を高めるための追肥をしても倒伏しにくく、栽培しやすい品種です。



ユメシホウのパン

【問い合わせ先】

- 品種の特徴および小麦粉の入手先について
作物研究所 麦研究領域 (TEL 029-838-7497)
- 種苗の入手先について
つくば市商工会 (TEL 029-879-8200)

■ユメシホウの製パン性

品種名	内部色相 (10点)	す立ち (10点)	触感 (15点)	香り (10点)	食感 (15点)	味 (10点)
ユメシホウ	6.2	6.8	10.8	7.0	11.2	6.9
ニシノカオリ	5.7	5.4	8.5	6.8	8.8	6.3

注) 2005～2006年産について、パン技術研究所で3回評価した結果の平均(カッコ内満点)

【ふくほのか】めんの食感に優れる早生で多収の小麦

【特徴】

従来小麦品種「農林61号」と比べて小麦粉のアミロース含有率がやや低いため、めんの食感(粘弾性)に優れ、うどんに適します。うどんのほか、そうめんや菓子の原料としても使用されています。

農林61号よりも製粉しやすく、製粉特性の指標である製粉歩留やミリングスコアが高く優れています。

農林61号よりも早生で栽培しやすく、現在、兵庫県で栽培され、岡山県でも試験栽培されています。

■ふくほのかの栽培特性

品種名	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂発芽性	赤かび病	収量 (kg/a)
ふくほのか	6.01	87	難	中	50.4
農林61号	6.04	91	難	中	48.6

■ふくほのかの品質特性 (めんの評点は1999年～2002年度平均)

品種名	アミロース含有率	製粉歩留 (%)	めんの評点		
			粘弾性	滑らかさ	総合
ふくほのか	21.9	72.0	18.9	11.2	74.0
農林61号	23.5	68.6	17.3	10.4	70.0

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
近畿中国四国農業研究センター 水田作研究領域 小麦育種研究グループ (TEL 084-923-5381) (FAX 084-924-7893)
- 加工品について
小野産小麦を広めよう会 (兵庫県小野市)
兵庫県手延素麺協同組合 (TEL 0791-62-0826)
つやま新産業創出機構 (TEL 0868-24-0740)
- 種苗の購入について
JA兵庫西 (兵庫西農業協同組合)
(TEL 079-281-5021) (FAX 079-289-8419)



ふくほのか草姿



「ふくほのか」を使ったロールケーキのパンフレット

【ゆめちから】パン用・中華めん用のブレンド利用に適する小麦

【特徴】

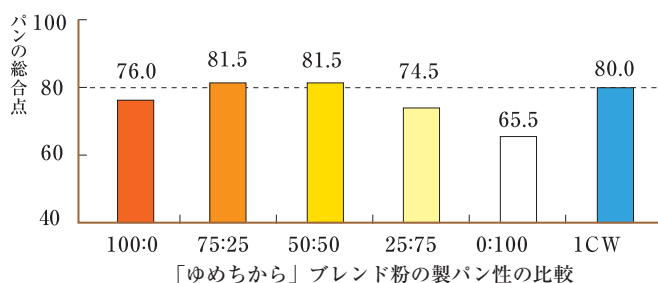
グルテンの力が極めて強い超強力秋まき小麦品種です。「きたほなみ」「ホクシン」等の中力小麦粉とブレンドすることにより、その生弛の弱さが改善され、本来は強力粉が使われるパン用に利用できます。また、ブレンドした小麦粉を使用した中華めんは弾力・硬さの食感が優れたものになります。

原粒の蛋白質含量が高いので、醤油原料用としても利用できます。

土壌病害であるコムギ縮萎病に対して極めて優れた抵抗性を有しますので、北海道の本病発生地帯の秋まき小麦の安定生産につながります。



100:0 75:25 50:50 25:75 0:100 外国産小麦
 (「ゆめちから」:「ホクシン」のブレンド比率)



注) 平成16年、(社)日本パン技術研究所による。
 横軸の数字はゆめちから:ホクシンのブレンド比率を示す。
 カナダ産のパン用小麦銘柄1CWを80点として評価。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター
 (代)(TEL 011-851-9141) (FAX 011-859-2178)
 畑作研究領域 小麦・ソバグループ
 (TEL 0155-62-9210)

●生産物の購入について

現在、道内製粉業者で試験製粉中

【あやひかり】もちもち感のある滑らかなうどんになる小麦

【特徴】

低アミロースであるため、めん食感(もちもち感、滑らかさ)に優れ、生めんや乾めんなどうどん類の加工適性があります。また従来品種の「農林61号」などより茹で時間が短くて済みます。

「農林61号」より早生で縮萎病や赤さび病に強く多収の品種です。大粒で、製粉した際に粉の得られる割合(製粉歩留)が大きいという特徴もあります。現在、埼玉県や三重県で栽培されています。



「あやひかり」を用いた乾麺

■あやひかりの栽培特性(作物研究所ドリル播き、1993~1999年産平均)

品種名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	収量 (kg/a)	千粒重 (g)	縮萎縮病 抵抗性	赤さび病 抵抗性	穂発芽 性
あやひかり	4/19	6/8	89	10.1	72.2	37.0	やや強	強	難
農林61号	4/24	6/12	95	9.4	57.3	30.9	中	中	難

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

作物研究所 麦研究領域 (TEL 029-838-7497)

●生産物の購入について

小麦粉については、前田食品株式会社(TEL 0480-42-1226)
 乾麺「もちりつるっおいしいおうどん」については、
 (有)三上製麺(TEL 042-992-2559)

■あやひかりの品質特性(埼玉県実需者評価、1999年産)

品種名	アミロース 含有(%)	製粉歩 留(g)	めんの評点		
			色・外観	食感	総合
あやひかり	23.8	70.4	23.9	39.1	73.5
農林61号	29.2	65.9	24.5	34.6	68.7

【カシマゴール】 縞萎縮病に抵抗性で稈が折れにくい 麦茶用六条大麦

【特徴】

従来品種の「カシマムギ」で問題になっている縞萎縮病に抵抗性を持ち、うどんこ病にも強い麦茶用品種です。

さらに、「カシマムギ」よりも、成熟後に稈が折れにくいいため、安定した収量が得られます。

「カシマムギ」と比べてやや粒が小さいですが、穂数が多く多収で、容積重もやや重いです。

麦茶の香りの元になるとされる蛋白質の含有率や麦茶粒の外観、麦茶の味・香りは「カシマムギ」と同程度です。

平成 22 年に茨城県で準奨励品種として採用されました。



「カシマゴール」の麦茶粒

【問い合わせ先】

- 品種の特徴および生産物の入手先について
作物研究所 麦研究領域 (TEL 029-838-8862)
- 種苗の入手先について
(社) 茨城県穀物改良協会 (TEL 029-239-6300)

■ カシマゴールの麦茶品質

品種名	麦茶品質			
	原麦蛋白質含有率 (%)	麦茶液色	味・香り	総合評価
カシマゴール	12.2	やや淡	中	中
カシマムギ	12.0	中	中	中

【白妙二条】 褐変せず新たな食材として 利用できる大麦

【特徴】

褐変に影響するポリフェノール（プロアントシアニジン）の含量は「ニシノホシ」の約 1 割で加熱後に褐変をほとんど起こさず、麦飯等の色相評価が極めて高く優れます。また、精麦白度は高く砕粒率は低く、精麦品質は「ニシノホシ」並に優れます。

早生、短稈で穂数が多く耐倒伏性は強く、多収で外観品質も良く生育特性は「ニシノホシ」に類似しています。病害抵抗性も「ニシノホシ」と同等で、うどんこ病には極強、赤かび病にはやや強、オオムギ縞萎縮病ウイルスの I 型系統には抵抗性ですが III 型系統に罹病します。穂発芽性は易で「ニシノホシ」に比べやや劣ります。

「白妙二条」は多収・高品質食用品種の「ニシノホシ」と同じ栽培管理により温暖地から暖地の平坦部で栽培できます。現在、佐賀県で生産が始まっています。



加熱後褐変をほとんど起こさない

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
九州沖縄農業研究センター 水田作・園芸研究領域
小麦・大麦育種グループ (TEL 0942-52-3101)
- 生産物の購入について
佐賀県農業協同組合 (JA さが) (TEL 0952-25-5359)

栽培方法	標肥		多肥	
	白妙二条	ニシノホシ	白妙二条	ニシノホシ
品種名	白妙二条	ニシノホシ	白妙二条	ニシノホシ
成熟期 (月/日)	5.17	5.17	5.13	5.14
稈長 (cm)	88	88	89	91
子実重 (kg/a)	52.3	49.4	60.6	64.8
55% 搗精白度 (%)	45.5	44.5	46.4	46.5
砕粒率 (%)	7.3	7	5.9	4.9
製麦プロアントシアニジン (μg)	39	310	28	319

早生・多収で精麦品質が良く、極低ポリフェノール

【キラリモチ】 褐変しにくく、食味が優れるもち性の二条裸麦

【特徴】

「キラリモチ」は、炊飯など加熱調理後も褐変しにくい特徴を持つ二条裸麦です。もち性であるため粘りがあり食味が優れ、機能性成分のβ-グルカン(水溶性食物繊維)がうるち性品種よりも1.5倍程度多く含まれます。収量性はやや劣りますが、従来品種にはない品質特性を合わせ持つことから、関係企業から注目されています。麦ごはん用としての利用に限らず、粉利用などによって新たな需要が見込まれる高付加価値食品の開発が期待されます。

茨城県で麦ごはん用として生産されているほか、佐賀県・高知県・広島県などでも新規用途向けとして生産が始まっています。



18時間保温後の炊飯麦
(左：キラリモチ、右：イチバンボシ)

■ 60%精麦のポリフェノールとβ-グルカン含量

品種名	総ポリフェノール含量(mg/g)	プロアントシアニジン含量(μg/g)	β-グルカン含量(%)
キラリモチ	0.15	0.7	7.2
イチバンボシ	0.32	55.7	4.7

【問い合わせ先】

● 品種の特徴、生産物の入手先について

近畿中国四国農業研究センター 四国研究センター
作物機能開発研究領域 大麦育種研究グループ
(TEL 0877-63-8126) (FAX 0877-63-1683)

● 種苗の入手先について

近畿中国四国農業研究センター 企画管理部 業務推進室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

■ 麦ごはんの食味試験結果

品種名	白さ	香り	軟らかさ	粘り	味
キラリモチ	0.6	0.3	0.9	1.1	0.6
イチバンボシ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ユメサキボシ	-0.4	-0.1	0.0	0.1	0.0

3カ年の平均値：各調査項目のイチバンボシ(標準品種)の評点を0とした相対評価で、-2~+2の評点を与えています。
+評価は白く、香りが良く、軟らかく、粘りが多く、味が良いことを意味します。

【ユメサキボシ】 大粒で主要病害に強く、押麦など精麦に適する裸麦

【特徴】

「ユメサキボシ」は国内初の実用的な二条の裸麦品種で、六条の品種に比べて大粒なので整粒歩合が高くなります。また大麦縮萎縮病・うどんこ病・赤かび病など主要病害に強いので、生産者には安定的な増産が見込まれ、実需者への高品質生産物の安定供給が期待できます。裸麦なので押麦などの麦ごはん用のほか、味噌用・焼酎用など精麦を利用する加工食品の原料にも適すると考えられます。

埼玉県で生産され、押麦として加工・販売されているほか、佐賀県などでも普及が始まっています。

■ ユメサキボシの特性

	整粒重(kg/a)	整粒重の(60%歩留)標準比	精麦白度(60%歩留)搗精麦)	大麦縮萎縮病I型抵抗性	大麦縮萎縮病III型抵抗性	赤かび病抵抗性	うどんこ病抵抗性
ユメサキボシ	54.8	113	45.1	極強	極強	強	極強
イチバンボシ	48.4	100	44.0	強	極強	中	中



ユメサキボシ イチバンボシ



ユメサキボシの押麦

【問い合わせ先】

● 品種の特徴、生産物の入手先について

近畿中国四国農業研究センター 四国研究センター
作物機能開発研究領域 大麦育種研究グループ
(TEL 0877-63-8126) (FAX 0877-63-1683)

【里のほほえみ】倒れにくく大粒良質で高蛋白の大豆

【特徴】

「里のほほえみ」は、成熟期が晩生で、大粒良質の高蛋白なダイズ品種です。

子実の蛋白質含量が「エンレイ」並に高く、豆乳の抽出率や豆腐の硬さなどから、豆腐加工に適しています。「エンレイ」より1週間ほど晩熟ですが、「エンレイ」よりダイズモザイク病や紫斑病に強く、粒大はかなり大粒で外観品質が良好です。生育中は倒れにくく、最下着莢節位が高く、莢が割れにくいことからコンバイン収穫などの機械化適性にも優れていることが特徴です。

現在、山形県、福井県、栃木県で生産されています。

【問い合わせ先】

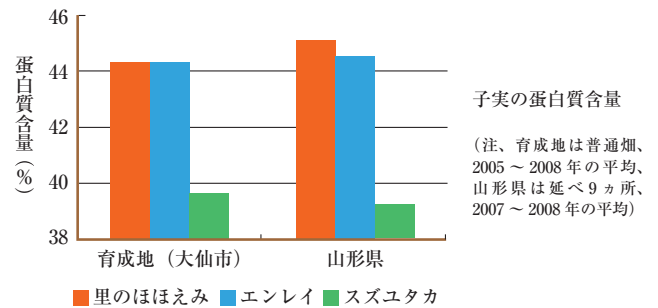
- 品種の特徴について
東北農業研究センター 水田作研究領域大豆育種担当
(TEL 0187-75-1084) (FAX 0187-75-1170)
- 生産物の購入について
全国農業協同組合連合会 園芸農産部大豆販売課
(TEL 03-6271-8200) (FAX 03-5218-2523)



子実の形状
(上：里のほほえみ、左下：エンレイ、右下：スズユタカ)



転換畑での草姿



【はつさやか】コンバインによる適期収穫が可能で豆腐加工に適した大豆

【特徴】

「はつさやか」は、成熟期が「サチユタカ」より4日程度、「フクユタカ」より2週間程度早いですが、収量性は高く、「サチユタカ」と同程度の収量性を示します。

また、青立ちの発生が少ないため適期にコンバイン収穫ができます。子実の外観品質は裂皮が少なく良好です。

「はつさやか」は蛋白質含有量が高く、豆腐加工適性が優れており、「サチユタカ」、「フクユタカ」よりしっかりした豆腐ができ、実需者による官能評価でも食感、風味ともに良い評価を受けています。

また、味噌、煮豆、納豆用途についても良い評価が得られています。



子実の比較
(左：はつさやか、右：サチユタカ)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
近畿中国四国農業研究センター四国研究センター
作物機能開発研究領域 大豆育種研究グループ
(TEL 0877-63-8132) (FAX 0877-63-1683)
- 種苗の入手先、生産物の入手先について
近畿中国四国農業研究センター 企画管理部 業務推進室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

■「はつさやか」の豆腐加工適性

品種名	粗蛋白質含有率 (%)	破断強度 (g/cm ²)	
		塩化マグネシウム	GDL
はつさやか	44.6	71	80
サチユタカ	45.2	39	65
フクユタカ	43.9	64	86

注) 塩化マグネシウム及びGDL(グルコノデルタラクトン)は凝固剤の種類。

【あきまろ】 晩播栽培において多収で味噌の原料に好適な大豆

【特徴】

「あきまろ」は成熟期が「フクユタカ」と同程度の晩生種で、晩播栽培において「フクユタカ」より平均4%多収です。ダイズモザイク病の病原の1つであるダイズモザイクウイルス A₂ 系統に対して抵抗性を持っており、本病による減収や障害粒発生を防ぎます。

子実の外観品質が優れており、淡色味噌への加工適性について、色の明るさ、照り等の色調、味の官能評価が良好で、現行の標準品種「トヨコマチ」と比較して同等以上との評価が得られています。

また、煮豆、納豆用途についても良い評価を得られています。豆腐については粗蛋白質含有率がやや低いため、「フクユタカ」に比べ柔らかい豆腐ができます。

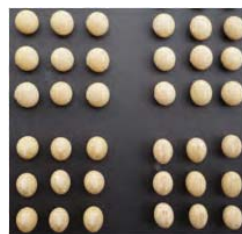
【問い合わせ先】

●品種の特徴について

近畿中国四国農業研究センター四国研究センター
作物機能開発研究領域 大豆育種研究グループ
(TEL 0877-63-8132) (FAX 0877-63-1683)

●種苗の入手先、生産物の入手先について

近畿中国四国農業研究センター 企画管理部
業務推進室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)



子実の比較
(左：あきまろ、右：フクユタカ)

■「あきまろ」の淡色味噌加工適性

		あきまろ	トヨコマチ (標準)
重量増加比 (倍)	浸漬後	2.28	2.36
	蒸煮後	2.05	2.10
蒸煮大豆	水分 (%)	57.7	60.1
	硬さ (g)	543	543
蒸煮大豆の色調	明度 Y (%)	35.7	35.7
	赤み x	0.392	0.389
	黄み y	0.391	0.388

【コメント】 蒸煮大豆の色調の明度 Y (%) が高く良好。味噌の色が明るく照りがあり、色調が良い。香りがやや弱い、味はまとまりあり。

注) 蒸煮大豆の色調は CIE (国際照明委員会) の定める Yxy 表色系による。Y の値が高いほど色が明るく、x、y の値が高いほどそれぞれ赤み、黄みが強いことを示す。

【すずかれん】 納豆加工適性が高く、葉焼病とハスモンヨトウに強い暖地向け大豆

【特徴】

「すずかれん」は、従来の暖地向け納豆用品種「すずおとめ」と同様に小粒の品種ですが、「すずおとめ」に比べて子実はやや大きく、納豆加工適性は「すずおとめ」と同等、もしくはそれ以上の評価を得ています。

「すずおとめ」の産地の一部で収量や品質低下を引き起こしている葉焼病に対して「すずおとめ」より極めて強く、また、大豆の重要な食害性害虫であるハスモンヨトウに対する抵抗性が強い特長を持っています。

このため、収量や品質の高位安定化と、薬剤防除回数の低減を通じた省力・低コスト化が期待できる、環境に優しい農業に適した新品種です。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター
作物開発・利用研究領域大豆育種グループ
(TEL 096-242-7740) (FAX 096-249-1002)

●種苗の入手先について

同上

■納豆加工適性の比較 (得点)

品種名	すずかれん	すずおとめ
A 社総合官能評価	26	25
B センター総合官能評価	3.0	1.8
C 社加工適性総合評価	14.1	12.0

注) いずれも数値が大きい方が加工適性が高い。



「すずかれん」で作った納豆



子実の外観
(左：「フクユタカ」、中央：「すずかれん」、右：「すずおとめ」)



葉焼病抵抗性の差
(左：「すずかれん」、右：「すずおとめ」)

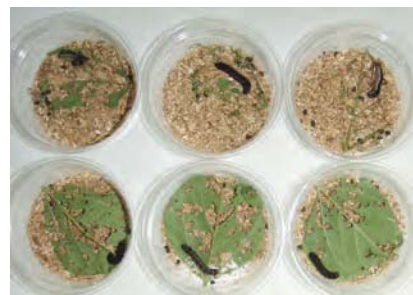
【フクミノリ】豆腐用主力品種「フクユタカ」のハスモンヨトウ抵抗性を強化した大豆

【特徴】

「フクミノリ」は、ハスモンヨトウ抵抗性“強”の「ヒメシラズ」に豆腐加工適性に優れる九州地域の主力品種「フクユタカ」を6回繰り返し交配して育成された品種で、ハスモンヨトウ抵抗性が「フクユタカ」の“弱”に対して、「フクミノリ」では“中”に強化されています。

子実の外観品質、粗蛋白質含有率、豆腐の固まりやすさなどは「フクユタカ」と同等で、豆腐加工に適しています。

ハスモンヨトウ抵抗性は“中”で、発生状況に応じた防除が必要ですが、農薬の散布回数低減を通じて、生産の省力・低コスト化と食の安全・安心性向上が期待できる新品種です。



ハスモンヨトウ抵抗性の差
(上段:「フクユタカ」、下段:「フクミノリ」、葉を20時間前に与えた)

■豆腐加工適性

品種名	フクミノリ	フクユタカ	
粗蛋白質含有率 (%)	41.7	41.8	
豆乳抽出率 (%)	78.9	79.3	
豆乳粘度 (mPa・s)	33.7	29.8	
豆腐破断強度			
凝固剤	GDL	107	125
	CaSO ₄	115	133
	MgCl ₂	82	92
豆腐加工適性	適	適	

注) 豆腐破断強度(豆腐の固まりやすさ)の適正値はGDLとCaSO₄では90以上、MgCl₂では60以上。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 作物開発・利用研究領域
大豆育種グループ
(TEL 096-242-7740) (FAX 096-249-1002)

●苗種の入手先について

九州沖縄農業研究センター 作物開発・利用研究領域
大豆育種グループ
(TEL 096-242-7740) (FAX 096-249-1002)



子実の外観
(左:「フクユタカ」、
右:「フクミノリ」)

【すずほのか】早熟でモザイク病に強い納豆用極小粒大豆

【特徴】

「すずほのか」は、成熟期が中生の早の納豆用極小粒品種です。

納豆加工適性は、東北地域の代表的品種の「コスズ」並に良好です。「コスズ」より1~2週間ほど早熟ですが、収量は「コスズ」並で、「コスズ」より短茎で倒れにくく、ダイズモザイク病に強いことが特徴です。

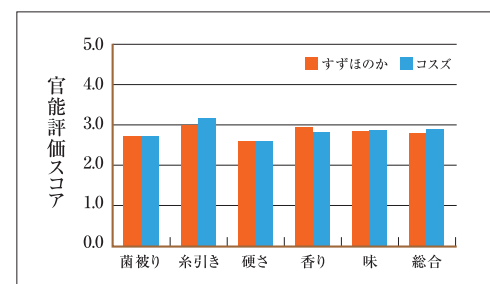
「すずほのか」は早熟なため、適地が北東北地域に広がるとともに、作期を分散することができます。現在、岩手県、宮城県、福島県で生産されています。

「すずほのか」は、山形県で生産されている成熟期が中生の姉妹品種の「すずかおり」とともに、「コスズ」に替わる東北の新たな納豆大豆のブランドを目指しています。



早熟で短茎で倒れにくい
(左:すずほのか、右:コスズ)

「コスズ」並の極小粒納豆(左:すずほのか、右:コスズ)



良好な納豆加工適性

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター 水田作研究領域大豆育種担当
(TEL 0187-75-1084) (FAX 0187-75-1170)

●生産物の購入について

全国農業協同組合連合会 園芸農産部大豆販売課
(TEL 03-6271-8200) (FAX 03-5218-2523)

いも類

生産者向け

【はるか】家庭料理にも業務用途にも適する じゃがいも



かわいい外観の「はるか」

【特徴】

煮崩れが少なく食味に優れ、家庭料理にも、サラダ、コロッケなどの業務加工用途にも適する中生の生食用品種です。

イモは倒卵形で、「男爵薯」よりも大きく、白肉で、内部障害の発生が少なく、打撲に対してやや強い抵抗性をもつことも魅力です。ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はもちろんのこと、青枯病や塊茎腐敗にもやや強い抵抗性を持っています。

目が浅いので皮を剥きやすく、また目の周りが赤くかわいい外観がこの品種の特徴でもあります。肉質はやや粘質で、ほのかな甘みがあります。目が少ないので、種イモを切断する場合は、頂芽の位置に注意が必要です。

平成22年から栽培が始められています。



サラダなどの業務用にも

【問い合わせ先】

●種の特徴について

北海道農業研究センター
(代)(TEL 011-851-9141)
(FAX 011-859-2178)
畑作研究領域 パレイショ・テンサイグループ
(TEL 0155-62-9272)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画管理部 業務推進室
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

■はるかの主な特性 (北海道農業研究センター/芽室町 平成15-18年)

品種名	枯凋期 (月/日)	終花期の		株当たり 上いも数 (個)	上いも 平均一個重 (g)	上いも 重 (kg/10a)	規格内 収量 (kg/10a)	標準 比	でん粉 価 (%)
		茎長 (cm)	茎数 (本/株)						
はるか	9/20	62	3.0	9.4	107	4,395	3,952	120	15.9
男爵薯	9/1	43	4.4	10.2	87	3,882	3,297	100	16.4
さやか	9/16	58	3.0	8.7	113	4,393	3,975	121	16.8

注) 上いも:20g以上。規格内:60-340g

【こがね丸】ジャガイモシストセンチュウ抵抗性の良食味 フライドポテト用じゃがいも

【特徴】

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ、良食味のフレンチフライ用品種です。ジャガイモシストセンチュウ発生圃場では栽培することにより線虫密度を低減することができ、未発生圃場では線虫の進入を防止することができます。

「ホッカイコガネ」と比較して、でん粉価が高く、収量はほぼ同等で、「ムサマル」で問題となった褐色心腐の発生はみられません。光によるグリコアルカロイド(えぐ味成分)の増加が少なく、収穫後の品質維持に優れます。

「ホッカイコガネ」より中心空洞が発生しやすいので、十分な培土を行い、疎植・多肥を避ける必要があります。



■収量および品質特性 (北海道農業研究センターH13-17の平均値)

品種名	上いも重 (kg/10a)	でん粉価 (%)	塊茎の生理障害		シストセンチュウ 抵抗性
			褐色心腐	中心空洞	
こがね丸	5,299	19.3	無	微	有
ホッカイコガネ	5,305	17.5	無	無	無

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター
(代)(TEL 011-851-9141) (FAX 011-859-2178)
畑作研究領域 パレイショ・テンサイグループ
(TEL 0155-62-9272)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画管理部 業務推進室
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

■調理特性

品種名	フライ			曝光後PGA (mg/100gFW)
	褐変	食感	評価	
こがね丸	微-少	良	中-良	4.0
ホッカイコガネ	無	良	良	13.1

注) PGA:グリコアルカロイド

【ノーザンルビー】ルビーのような輝き 赤皮・赤肉のカラフルポテト

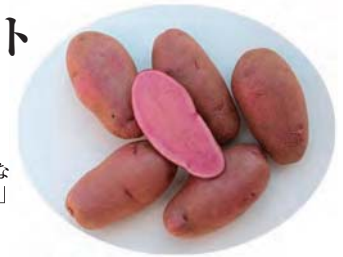
【特徴】

「インカレッド」に比べ、アントシアニン色素含量がやや多く、いも全体で色むらがありません。平均1個重が大きく、でん粉価も16%と高いため、加工時の歩留まりが良く、水煮だけでなくポテトチップなどにも適しています。

色を活かしたスナック製品が開発されており、チルドやフレークなどの一次加工製品も開発されてきているので、総菜、製菓などの用途にも使いやすくなってきています。

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性で、茎が短く直立のため栽培しやすいという特徴もあります。

現在、北海道で栽培されています。



色が均一な「ノーザンルビー」



カラフルポテトのチルド加工品

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
北海道農業研究センター
(代)(TEL 011-851-9141)
(FAX 011-859-2178)
畑作研究領域
パレイシヨ・テンサイグループ
(TEL 0155-62-9272)
- 生産物の購入について
カルビーポテト(株)
(TEL 0155-62-2200)

■ノーザンルビーの特性 (北海道農業研究センター 平成13-17年)

品種名	上いも平均 1個重(g)	でん粉価 (%)	シスト センチュウ 抵抗性	水煮			チップ 適性	アントシアニン 含有量 (mg/gFW)
				黒変	煮崩れ	食味		
ノーザンルビー	105	15.8	有	微	少	中	やや適	1.95
インカレッド	75	11.7	無	少	無	中下	やや不適	1.54
男爵薯	85	16.4	無	少	中	中上	中	-

【シャドークイーン】色調の安定した 濃紫肉のカラフルポテト

【特徴】

生いも1g当たり8mg前後のアントシアニン色素を含み、濃い紫の肉色で、安定した色調の加工品を製造することができます。水煮やフライなどの調理適性が既存の紫肉品種よりも優れており、チルドやフレークなどの加工製品も開発されてきているので、総菜、製菓などの用途にも使いやすくなってきています。

褐色心腐や中心空洞などの内部異常が無い場合、原料のロスが少なく済みます。

ジャガイモシストセンチュウに対する抵抗性がないため、発生地での栽培は避ける必要があります。

現在、北海道で栽培されています。



濃紫肉の「シャドークイーン」



シャドークイーンを使用した加工品(左側)とポテトコロッケ(右側)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
北海道農業研究センター
(代)(TEL 011-851-9141)
(FAX 011-859-2178)
畑作研究領域
パレイシヨ・テンサイグループ
(TEL 0155-62-9272)
- 生産物の購入について
カルビーポテト(株)
(TEL 0155-62-2200)

■シャドークイーンの特性 (北海道農業研究センター 平成14-17年)

品種名	上いも平均 1個重(g)	でん粉価 (%)	シスト センチュウ 抵抗性	水煮			フライ 適性	アントシアニン 含有量 (mg/gFW)
				黒変	煮崩れ	食味		
シャドークイーン	97	18.8	無	微	中	中上	中	8.16
インカパープル	84	20.7	無	中	中	中	やや不適	2.30
キタムラサキ	113	18.2	有	微	少	中	やや不適	2.65
男爵薯	85	16.4	無	少	中	中上	中	-

いも類

生産者向け

【ひめあやか】食べきりサイズで美味しいサツマイモ

【特徴】

いもは小さく、平均1個重は青果用の主力品種「ベニアズマ」や「高系14号」の6割ほどの重さです。全いも収量は両品種に比べて少ないですが、食べきりサイズの200g以下のいも収量が多いです。蒸しいもや焼きいもにすると、肉質がやや粘質のため食感はしっとりとしていて、また50g程度の小さないももすじっぽさがなく、おいしいです。調理後の黒変が少なく、肉色は鮮やかできれいな黄色です。

立枯病、つる割病及び黒斑病への抵抗性はやや強で、「ベニアズマ」や「高系14号」よりも病害に強いです。栽培適地は全国のサツマイモ栽培地域です。

現在、関東の一部地域で生産が始まっています。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

作物研究所 畑作物研究領域
(TEL 029-838-8500)

●種苗の入手先について

作物研究所 企画管理室企画チーム
(TEL 029-838-8880) (FAX 029-838-7488)



「ひめあやか」および青果用主力品種の平均的大きさのいも
(「ひめあやか」の右は、約50gのいも)

焼きいもの切断面:左から「ひめあやか」、「ベニアズマ」、「高系14号」

■「ひめあやか」の収量、食味、病害虫抵抗性

品種名	いも収量 (kg/a)	平均一個重 (g)	蒸しいも		サツマイモネコブセンチュウ抵抗性	病害抵抗性		
			肉質	食味		立枯病	つる割病	黒斑病
ひめあやか	199	143	やや粘	上上(上)*	やや弱	やや強	やや強	やや強
ベニアズマ	250	276	やや粉	上	やや弱	やや強	やや弱	やや弱
高系14号	240	222	中	中	やや弱	弱	中	中

注)*: 焼きいもの()内は50g以下のいもの評価。

【べにはるか】上品な甘さでお菓子・焼き芋に適するサツマイモ

【特徴】

糖の含量、特に麦芽糖が多く上品な甘さの品種です。いもは紡錘形で、揃いも優れています。

蒸す、焼くなどの加熱調理後の肉質は、掘りたてはやや粉質ですが、貯蔵すると粘質になり、甘みがさらに増してきます。滑らかな舌触りが特徴で喉に詰まりません。

焼き芋や天ぷらにするととてもおいしいですし、滑らかさを活かし、ペーストにしてお菓子に利用するのに最適で、既に、スイートポテトやプリンなどに利用されています。

サツマイモネコブセンチュウ抵抗性、立枯病抵抗性が「高系14号」より優れるという特徴もあります。現在、鹿児島県、大分県、千葉県や茨城県などで生産されています。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 畑作物研究領域
サツマイモ育種グループ (TEL 0986-24-4274)

●種苗の購入について

アネット(有) (TEL 0994-44-4835)
三好アグリテック(株) (TEL 0551-36-5913)

●生産物の購入について

JA いぶすき (TEL 0993-36-1131)
JA 全農ちば (TEL 0476-22-5131)
JA おおいた野津町地域本部 (TEL 0974-32-2535)



外観がきれいでイモの揃いもいい

滑らかで焼き芋やペースト加工してお菓子に



(mg/gFW)

品種	果糖	ブドウ糖	ショ糖	麦芽糖	合計全糖量
べにはるか	1.4	2.5	24.9	116.7	145.6
高系14号	2.7	3.3	18.3	92.5	116.8
ベニアズマ	2.4	3.5	34.6	102.3	142.8

全糖、麦芽糖が多く上品な甘さ

【ほしキラリ】きれいで美味しい干しいもができるサツマイモ

【特徴】

加工した干しいも（蒸切干）は、淡黄色で外観が美しく、十分な甘味と上品な風味があり、おいしいです。

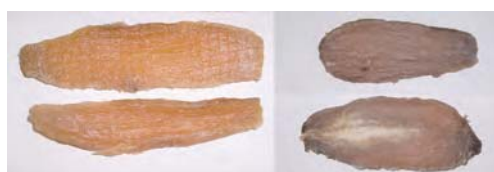
近年、「タムユタカ」で問題となっている、干しいもの一部が白く硬化するシロタと呼ばれる障害がほとんど発生しません。

いもの収量は、「タムユタカ」より低いですが、「泉13号」よりは多収で、塊根は高級品である丸干しいもに適するサイズが多いです。ネコブセンチュウとつる割れ病にやや強、黒斑病に強の抵抗性を示します。栽培適地は全国のサツマイモ栽培地域です。

現在、茨城県の干しいも産地で普及が進みつつあります。



「ほしキラリ」の塊根



「ほしキラリ」および「タムユタカ」の干しいも
左：「ほしキラリ」、右：「タムユタカ」（下側はシロタが発生した干しいも）

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

作物研究所 畑作物研究領域
(TEL 029-838-8500)

●種苗の入手先について

作物研究所 企画管理室企画チーム
(TEL 029-838-8880)(FAX 029-838-7488)

■「ほしキラリ」の収量、干しいも品質、病害虫抵抗性

品種名	いも収量 (kg/a)	平均一個重 (g)	干しいもの			サツマイモネコブセンチュウ抵抗性	病害虫抵抗性		
			肉色	食味	シロタの発生		立枯病	つる割れ病	黒斑病
ほしキラリ	159	147	淡黄	上	微	やや強	やや弱	やや強	やや強
タムユタカ	284	315	灰白	やや上	やや少	中	中	中	強
泉13号	99	163	黄白	やや上～上	微	やや強	弱	やや弱	やや強

【こなみずき】和菓子等の品質を長持ちさせる画期的なでん粉ができるサツマイモ

【特徴】

「こなみずき」の低温糊化性でん粉は、でん粉粒の中央に亀裂をもつ特殊な形態を示し、従来のでん粉用品種「シロユタカ」より約20℃低い温度で糊化します。

糊化後に冷蔵保存した場合、離水率や硬度が「シロユタカ」より大幅に低く、耐老化性に優れています。

この特徴を活かして、加工処理しない天然でん粉のまま、葛餅、わらび餅や落花生豆腐などの食品を製造しても、形や柔らかさを長期間保持できます。



「こなみずき」の塊根



「こなみずき」のでん粉を使った葛餅
(日本澱粉工業株式会社提供、冷蔵1日後)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター サツマイモ育種グループ
(TEL 0986-24-4274)

●種苗入手先について

ANET (アネット) 有限会社
(TEL 0994-44-4415) (FAX 0994-44-4835)

●生産物の購入について

日本澱粉工業株式会社 (でん粉製品)
(TEL 099-269-1011) (FAX 099-284-5225)

■「こなみずき」のでん粉特性

品種・系統名	糊化開始 ¹⁾ 温度(℃)	離水率 ²⁾ (%)		硬度 ²⁾ (N)		
		4週間後	10週間後	2時間後	4週間後	10週間後
こなみずき	58.1	0.0	0.0	0.35	0.44	0.46
シロユタカ	75.5	19.3	23.3	0.45	1.64	2.02

1) でん粉濃度7%でラビッドビスコアナライザー (RVA) により測定した。

2) でん粉濃度8%のゲルを5℃で保存して老化性の指標である離水率と硬度を測定した。

【にじゆたか】倒れにくく、大粒で子実外観に優れ、多収で良食味の秋収穫向けそば

【特徴】

耐倒伏性にすぐれ、千粒重が約36g、容積重が約630gになり大粒で子実外観が良いそばです。寒冷地から温暖地にかけての秋収穫用ソバとして栽培できます。

育成地（盛岡市）の7月下旬播種成績では、標準品種「階上早生」に比べ生育期間は4日程度遅れますが、4%ほど多収になります。岩手県平野部では遅くとも8月初旬までに播種するようにします。

過度の窒素施肥や密植を避け、がっしりとした草姿に仕上げ子実をよく充実させ、適期収穫に努めます。既存品種と同様に、十分な圃場排水対策と、隔離採種による特性維持に努めるとともに、計画的に種子更新することが望まれます。

加工適性および食味についての実需評価も良好です。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター
畑作園芸研究領域畑作物育種担当
(TEL 019-643-3698) (FAX 019-641-7794)

●種苗の入手について

東北農業研究センター 業務推進室運営チーム
(TEL 019-643-3437) (FAX 019-643-3405)



「にじゆたか」(右)と「階上早生」(左)の倒伏程度の差



「にじゆたか」(上)と「階上早生」(下)の子実

■「にじゆたか」の生育および品質特性

調査項目/品種	にじゆたか	階上早生
収量 (kg/a)	19.7	19.0
草丈 (cm)	121	111
倒伏程度 ¹⁾	1.0	2.3
生育期間 (日)	69	65
そば粉白度 ²⁾	71.6	69.9
味 ³⁾	5.8	5.0
香り ³⁾	5.3	5.0

¹⁾ 無：0～微：1～少：2～中：3～多：4～甚：5の6段階評価

²⁾ ロール製粉、色相（湿式）測定に基づく値（平成21、22年東北農研センター産の実需評価平均値、以下同じ）

³⁾ ロール製粉・機械製麺（そば粉4割）による完納評価標準を5点とし、香り、味（甘み）が良ければ加算

【春のいぶき】盛夏に新鮮な蕎麦麺が賞味できるそば

【特徴】

盛夏に新鮮な香りの高い蕎麦が賞味できる品種です。九州では3月中旬～4月上旬に播種して5月下旬～6月上旬に収穫できる早生品種です。沖縄県では冬栽培が可能です。

丸抜き粒は緑色が濃いので麺の色が良く、良食味です。穂発芽耐性なので、収穫期の降雨に対して品質が低下しにくい特性を持っています。現在、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県で生産されています。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 作物開発・利用研究領域
資源作物・育種基盤研究グループ
(TEL 096-242-7636)

●種苗および生産物の購入について

大分県豊後高田市ソバ生産組合
(TEL 0978-22-3100 市農林振興課)

品種名	開花期 (月.日)	成熟期 (月.日)	草丈 (cm)	子実重 (kg/a)	千粒重 (g)
春のいぶき	5.15	6.14	73	22.9	32.8
キタワセソバ	5.14	6.12	65	18.7	32.2
階上早生	5.13	6.13	69	21.1	32.0

生育日数は60日程度で多収



外観がきれいな緑色の丸抜き粒



春まきの開花期は5月上旬

【とりいずみ】葉枯病の不稔粒が少ない、多取の中生はとむぎ

【特徴】

葉枯病ははとむぎの葉を枯らすだけでなく、不稔粒を発生して収量を低下させる最も重要な病気です。温暖化の進展に伴い、東北北部でも発生するようになりました。「とりいずみ」は葉枯病による不稔粒の発生が少なく、種子は小粒で、製茶特性が良い品種です。

「とりいずみ」は中生で多取なので、関東から九州まで栽培でき、特に葉枯病の発生しやすい中山間地域や干ばつを受けやすい地域でも作付けできます。

鳥取県、福岡県で栽培普及が予定されています。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 作物開発・利用研究領域
資源作物・育種基盤研究グループ
(TEL 096-242-7636)

●種苗および生産物の購入について

JA 鳥取いなば (TEL 0857-32-1144)



成熟期の草姿(左:とりいずみ、右:あきしずく)

■「とりいずみ」の葉枯病発生程度(鳥取県)

品種・系統名	県農研圃場		現地圃場	
	葉枯程度	不稔粒重率%	葉枯程度	不稔粒重率%
とりいずみ	2.7	8.0	3.3	16.2
あきしずく	2.7	10.6	3.9	25.2
はとむすめ	4.0	17.9	-	-
はとひかり	3.7	19.3	-	-
はとゆたか	4.2	28.7	-	-

県農研圃場は2008-09年平均
現地は2009年6カ所試験の平均(有意差あり)
葉枯程度:0(無)-5(甚)の6段階で評価

■はとむぎ「とりいずみ」の特性概要

特性	九州沖縄農業研究センター		鳥取県農林総合研究所	
	とりいずみ	あきしずく	とりいずみ	あきしずく
出穂期	7月23日	7月22日	7月30日	7月28日
成熟期	9月26日	9月25日	9月24日	9月20日
草丈(cm)	121	112	161	146
茎数(本/m ²)	131	159	62	55
着粒層(cm)	65	62	79	77
葉枯病葉枯程度	0.1	0.1	3.0	3.0
葉枯病不稔程度	3.4	4.1	-	-
葉枯病抵抗性	やや強	やや強	強	やや強
耐倒伏性	強	強	強	強
穀実重(kg/a)	38.0	35.6	40.4	41.7
対標準比(%)	110	100	97	100
百粒重(g)	8.4	8.8	9.2	10.2

九農研は2004-10年、鳥取県は2008-10年成績の平均
葉枯病による葉枯発生程度:0(無)-5(甚)で評価
葉枯病による不稔発生程度:0(無)-7(多)で評価

【はとゆたか】東北地方の栽培に適した収量性の高いはとむぎ

【特徴】

収量は「はとじろう」に比べ1~2割程度多取で、収量性に優れた品種です。大粒で、お茶としての加工適性や焙煎粒の外観が優れています。

成熟期は「はとじろう」より4日遅く、「中里在来」より5日早い、「やや早生」(“中の早”)に属します。草丈は「はとじろう」と同程度の短稈で、「中里在来」より短いため、収穫作業が容易で、耐倒伏性は両品種並です。葉枯病には「はとじろう」と同様に弱いため、防除など栽培に関しては注意が必要です。

栽培適地は東北地方で、現在は主に岩手県内で栽培されています。



「はとゆたか」の粒
左:はとゆたか、右:はとじろう



収穫期の「はとゆたか」

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター
畑作園芸研究領域畑作物育種担当
(TEL 019-643-3655)

●種苗の入手先について

東北農業研究センター 業務推進室運営チーム
(TEL 019-643-3437) (FAX 019-643-3405)

■「はとゆたか」の主な特性

品種名	出穂期(月日)	成熟期(月日)	草丈(cm)	穀実重(kg/a)	標準比(%)	百粒重(g)
はとゆたか	7.29	10.6	175	44.9	126	12.0
はとじろう	7.28	10.2	172	35.7	100	11.9
中里在来	8.2	10.11	190	38.8	109	11.9

【黒海道(くろかいどう)】 本土西南暖地等での高品質な黒糖製造に向くさとうきび

【特徴】

「黒海道」は、ショ糖濃度の上昇の早い極早期高糖性品種です。これまで糖分上昇が不十分で良質な黒糖生産の難しかった九州や四国において、他の品種に比べて高いブリックス（搾汁液中の可溶性固形分の割合）に達し、より高品質の黒糖製造を可能とします。

降霜前の収穫を前提とし、収穫翌年以降も株を再生させる株出し栽培ができます。やや細めで茎数の多い茎数型品種で、株萌芽に優れ、特に株出しで多収となります。本品種によって黒糖製造を核とした地域特産品による6次産業化への貢献が期待されています。

なお、サトウキビは低温での生長が劣るため、年平均気温15℃以上の温暖な西南暖地での利用を推奨しています。



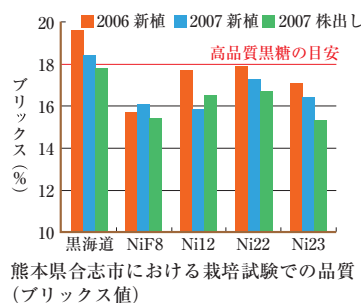
黒海道 NiF8

収穫期の「黒海道」(左)

■ 黒海道の主要特性

特 性	黒海道	NiF8
萌芽	極良	良
分けつ性	やや強	中
脱葉性	やや易	易
黒穂病抵抗性	弱	強
さび病抵抗性	強	強
葉焼け病抵抗性	強	強
原料茎数(本/a)	1150	878
1 茎重(g)	632	913
春植え		
原料茎重(kg/a)	720	794
ブリックス(%)	19.2	17.9
繊維分(%)	11.2	11.4
甘蔗糖度(%)	14.4	13
株出し		
原料茎数(本/a)	1158	958
1 茎重(g)	723	881
原料茎重(kg/a)	835	834
ブリックス(%)	19.1	17.9
繊維分(%)	10.9	11.4
甘蔗糖度(%)	14.2	12.9

取量は種子島における春植え10作、株出し9作の平均値



【問い合わせ先】

● 品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 種子島試験地
作物開発・利用研究領域 さとうきび育種グループ
(TEL 0997-25-0100) (FAX 0997-25-0888)

● 種苗の入手先について

同上

【まるえもん】 ゴマ兄妹のうち、セサミンたっぷりの黒ゴマ

【特徴】

ゴマに含まれるセサミンは、抗酸化防止に効果が高いことが報告されています。新品種、黒ゴマの「まるえもん」は、セサミンが市販品よりも多く含まれている世界的に希少なゴマです。

草丈が低く、病気にも強いいため、栽培しやすい品種です。栽培適地は、南は鹿児島県から、北は岩手県と広く、岩手県では在来種「岩手黒」よりも収量が多く、寒冷地でも多収です。

風味豊かな国産の「まるえもん」を用いて、機能性が高いゴマ菓子等の商品開発や地域興しが期待できます。



「まるえもん」の種子

■ 岩手県における収量

品種名	収量(kg/10a)
まるえもん	80
ごまぞう	50
岩手黒	70

岩手県内5カ所の現地試験平均値

【問い合わせ先】

● 品種の特徴について

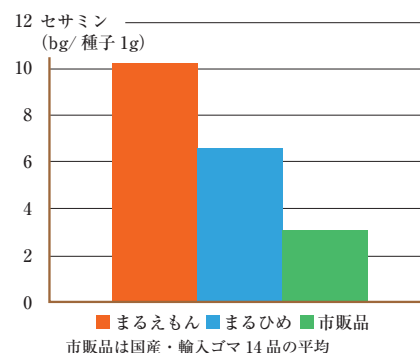
作物研究所企画管理室
(TEL 029-838-8260)

● 種苗の購入について

(株) 佐藤政行種苗 (TEL 019-638-5411)
(株) 和田萬商店 (TEL 06-6364-4387)

● 生産物の購入について

金峰ごま生産組合 (TEL・FAX 0993-77-3666)



【まるひめ】ゴマ兄妹のうち、セサミン・セサモリン たっぷりな白ゴマ

【特徴】

ゴマに含まれるセサミンとセサモリンは、抗酸化防止に効果が高いことが報告されています。新品種、白ゴマの「まるひめ」はセサミンやセサモリンが、市販品よりも多く含まれている世界的に希少なゴマです。

早生で収穫期が早いことから、幅広い作型に対応します。風味豊かな「まるひめ」で、機能性が高く、鮮やかな色調のゴマ油などの商品開発や、地域興しが期待できます。



「まるひめ」の種子



「まるひめ」から作った焙煎ゴマ油 (右)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
作物研究所企画管理室 (TEL 029-838-8260)
- 種苗の購入について
(株) 佐藤政行種苗 (TEL 019-638-5411)
- 生産物の購入について
金峰ごま生産組合
(TEL・FAX 0993-77-3666)
内原地区ごま研究会
(TEL 029-259-3643) (FAX 029-259-7725)

■「まるひめ」のセサミン含量

品種名	セサミン (mg/g)	セサモリン (mg/g)	草丈 (cm)	成熟期 (月日)	千粒重 (g)	種皮色	収量 (kg/10a)
まるひめ	6.6	3.6	166	8.30	2.4	白	122
真瀬金	3.6	2.3	153	9.17	2.4	黄褐	102

【キラリボシ】油粕の多目的利用も可能な食油用なたね

【特徴】

秋播きのダブルロー(エルシン酸がなく、グルコシノレート含量の低い)のなたね品種です。東北中南部地帯に適した「キラリボシ」は、現在、山形県で主に栽培されています。

エルシン酸を含まない菜種油は、食用油に適しています。

搾油後のミール(油粕)は、有機質肥料としてばかりでなく、飼料用にも利用可能で、農家の収益性に貢献します。開花期には景観形成にも役立ちます。



開花期のキラリボシ ~景観形成にも役立つ~

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
東北農業研究センター 畑作園芸研究領域
畑作物育種担当 (TEL 019-643-3655)
- 種子の入手先について
東北農業研究センターホームページにて公開しています。
<http://tohoku.naro.affrc.go.jp/seika/hinsyu/seed.html#natane>
- 生産物の購入について
山形市菜の花栽培推進協議会
(農事組合法人 やまがたファーム)
(TEL 023-666-8982)

■キラリボシの特徴

品種名	成熟期 (月/日)	収量 (kg/a)	千粒重 (g)	エルシン酸 (%)	グルコシノレート (μmol/g)
キラリボシ	6/28	29.9	3.5	0.0	14.6
キザキノナタネ	7/3	34.8	4.5	0.0	165.8
アサカノナタネ	6/27	24.1	4.3	0.0	126.2

【さえあかり】栽培しやすく、一番茶、夏茶ともに品質が良好なやや早生の品種

【特徴】

本品種は強健で多収な系統「Z1」と、高品質で玉露としても優れている早生の「さえみどり」の子供です。

炭疽病と輪斑病に強く、栽培しやすいやや早生の多収品種です。一番茶の摘採期は「さえみどり」と「やぶきた」の中間で、摘採期の分散化にも利用できます。また、「さえみどり」よりも耐寒性が強く、栽培適応範囲が広いため、「さえみどり」の栽培がやや困難な地域や「やぶきた」の更新が必要な地域において導入が期待されています。

耐病性が強く、一番茶だけでなく、夏茶の品質・収量も優れることから、収益性が高い品種と言えます。クワシロカイガラムシには抵抗性がないので、多発地域では防除が必要です。



「さえあかり」一番茶摘採期の圃相



「さえあかり」一番茶の新芽
(左：さえあかり右：やぶきた)

【問い合わせ先】

●品種の特徴、生産物の入手先について

野菜茶業研究所・茶業研究領域
茶育種研究グループ 枕崎茶業研究拠点
(TEL 0993-76-2126) (FAX 0993-76-2264)
金谷茶業研究拠点
(TEL 0547-45-4101) (FAX 0547-46-2169)

■「さえあかり」の栽培特性と生葉収量

品種名	一番茶		病害抵抗性		耐寒性		生葉収量 (kg/10a)			
	萌芽期 (月/日)	摘採期 (月/日)	炭疽病	輪斑病	赤枯れ 抵抗性	裂傷型 凍害 抵抗性	一番茶	二番茶	三番茶	年間収量
さえあかり	3/17	4/14	やや強	強	中	中	384	406	339	1130
さえみどり	3/12	4/10	中	弱	やや弱	やや強	226	256	197	679
やぶきた	3/22	4/18	弱	弱	やや強	中	252	176	148	577

1) 2006～2009年の枕崎拠点の平均値を示す。

【そうふう】ジャスミン系の香りを有し、煎茶・釜炒り茶・半発酵茶に適する品種

【特徴】

ジャスミン系の香りを有し、煎茶、釜炒り茶、半発酵茶としての品質が優れます。樹勢は強く、重要病害である炭疽病には中程度、輪斑病には強い抵抗性を有しており、栽培は容易です。

摘採期は中生の「やぶきた」よりも約1週間早く、暖かい地域での栽培に適しています。晩霜害や冬季の低温による寒害を受けやすいので、寒冷地での栽培には適していません。

現在、鹿児島県を中心に、静岡県や佐賀県で生産され、生産者によって煎茶、半発酵茶、蒸し製玉緑茶など異なる製茶法で製造されています。

早生で特徴ある香りですので、摘採期の分散化や商品のバリエーションを増やすことができます。



一番茶の新芽



半発酵茶の形状

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

野菜茶業研究所
枕崎茶業研究拠点 (TEL 0993-76-2127) (FAX 0993-76-2264)
金谷茶業研究拠点 (TEL 0547-45-4651) (FAX 0547-46-2169)

●生産物の購入について

太田康文 (TEL 0945-43-2717)
真茅文男 (TEL 0993-76-3425)
豊村友二 (TEL 0997-85-4863)

●種苗の入手先について

野菜茶業研究所 業務推進室
(TEL 050-3533-3815) (FAX 059-268-3213)

■「そうふう」の香りを活かした製茶法と利用場面



- 煎茶 → 和食・和菓子に
- 釜炒り茶 → 韓国料理や味の濃い和食に
- 半発酵茶 → 中華料理など香りの強い料理に

【もりのかがやき】大果で甘く、芳香があり、食味に優れる黄色リンゴ

【特徴】

果実は大きく、多汁で歯ざわりが良く、甘味と芳香があり、品質が優れます。黄色品種のため着色管理作業が不要なうえ、果面のさびの発生が少なく、無袋栽培でもきれいな果実に仕上がります。育成地（盛岡市）で10月中旬頃に収穫できる中生品種で、結実が安定して豊産性です。果実の日持ち性は良好です。

収穫期における裂果、落果、また地域や年によっては果肉の褐変症状が発生することがあります。

北海道、東北から北信越にかけてのリンゴ産地で導入が可能であり、岩手県等で植栽が始まっています。



「もりのかがやき」の結実状況

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

果樹研究所リンゴ研究領域
(TEL 019-645-6154) (FAX 019-641-3819)

●種苗の入手先について

(社) 日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

■「もりのかがやき」の果実特性

品種名	収穫日	果実重 (g)	糖度 (%)	酸含量 (g/100ml)	肉質	粉質化の難易	みつの多少
もりのかがやき	10月22日	374	15	0.24	中	難	無～少
ジョナゴールド	10月27日	327	14.1	0.46	中	易	無～少
ふじ	11月16日	302	13.9	0.36	中	難	多

果樹研究所（盛岡市）、2004-2008年平均

【早秋】極早生でへたすき性がなく良食味な完全甘ガキ

【特徴】

不完全甘ガキの「西村早生」とほぼ同時期に熟する、極早生で良食味な完全甘ガキ品種です。

果実の大きさは250g程度で、果皮色が赤い品種です。糖度は14～16%で、肉質は緻密で柔軟多汁なため食味は優れます。へたすきはほとんど発生せず、日持ち性は「伊豆」より優れます。

受粉樹が周囲にないと早期落果しやすいので、結実の安定のためには「禅寺丸」など受粉樹の混植が必要です。

現在、福岡県、岐阜県、愛知県等で果実が生産されています。



「早秋」の結実状況

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

果樹研究所 ブドウ・カキ研究領域
(TEL 0846-45-4740)

●種苗の入手先について

果樹研究所 業務推進室
(TEL 029-838-6443)(FAX 029-838-6440)

■「早秋」の果実特性

品種名	収穫日	果実重 (g)	糖度 (%)	肉質	果汁	へたすき (%)	日持ち (日)
早秋	10月3日	256	15.3	密	多	0	14
西村早生	10月5日	237	15.5	粗	中	4	18
伊豆	10月11日	253	15.1	密	多	20	9

【なつしずく】食味が良く、きれいな早生の青ナシ

【特徴】

8月上中旬に成熟し、「幸水」の1週間前に収穫される早生の青ナシです。果実は扁平形で重さは平均で300gを超え、「幸水」と同程度の大きさになります。果肉は軟らかく、多汁で、糖度は12%程度、酸味は少なく、食味が優れています。

無袋栽培でもサビの発生が少なく、きれいに仕上がるのも魅力です。果皮は押し傷が付きやすいので、取り扱いに注意が必要です。

現在、大分県、新潟県、富山県等で栽培されています。



「なつしずく」の結実状況

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

果樹研究所品種育成・病害虫研究領域
(TEL 029-838-6464) (FAX 029-838-6437)

●種苗の入手先について

(社) 日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

●生産物の購入について

JA おおいた日田梨部会
(TEL 0973-26-3520) (FAX 0973-26-3525)

■「なつしずく」の果実特性

品種名	収穫盛期	果実重 (g)	果肉硬度 (lbs.)	糖度 (%)	果汁酸度 (pH)
なつしずく	8月15日	326	4.5	11.8	5.3
幸水	8月22日	314	4.4	11.7	5.3

果樹研究所 (つくば市)、2003-2004年平均

【つきあかり】甘味が強く、食味が良く、無袋栽培可能な黄肉モモ

【特徴】

甘みが強く、香りの良い黄肉モモで、品質のばらつきが少なく消費者に自信をもって販売できるモモ品種です。

果実の大きさは220～250g程度で、糖度が14%程度と同時期のモモよりは糖度が高く食味が良好です。袋かけしないで栽培できます。着色が少なく、外観から黄肉であることがわかります。果肉にはカロテンを多く含み、黄肉モモ特有の芳香があります。

収穫期は「あかつき」の約1週間後で、現在の黄肉モモの主力品種である「黄金桃」よりも2週間程度早く収穫できます。



「つきあかり」の果実

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

果樹研究所品種育成・病害虫研究領域
(TEL 029-838-6466) (FAX 029-838-6437)

●種苗の入手先について

(社) 日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

■「つきあかり」の果実特性

品種名	収穫日	着色の多少	裂果の発生	果肉色	果実重 (g)	糖度 (%)	酸度 (pH)
つきあかり	7月31日	少	少	黄	226	14.0	4.58
あかつき	7月24日	やや多	無	乳白	289	13.1	4.52
黄金桃	8月16日	やや多	中	黄	339	14.6	4.03

果樹研究所 (つくば市)、2001-2007年平均、無袋栽培

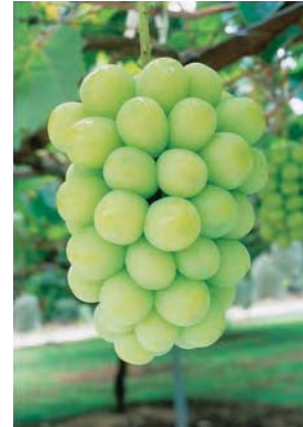
【シャインマスカット】大粒で皮ごと食べられる種なしマスカット

【特徴】

大粒で食味良好な黄緑色のブドウです。肉質がかみ切りやすく硬く、マスカット香があります。糖度は高く、酸味が少ないブドウです。「巨峰」などと同様、植物生育調節剤処理によって種なし果実が生産できます。種なし果実は皮ごとでも美味しく食べることができます。成熟期は「巨峰」とほぼ同時期で、日持ち性は「巨峰」より長く、脱粒しにくい品種です。

耐病性がある程度強く、裂果も発生しません。短梢栽培も可能なため栽培しやすいブドウです。

現在、東北地方から九州までの各地で植栽が進められています。主産県は山梨県、長野県、山形県、鳥根県、岡山県、香川県などで、果実専門店等で販売されるようになりました。



種なし栽培された「シャインマスカット」の果実

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
果樹研究所 ブドウ・カキ研究領域
(TEL 0846-45-4740) (FAX 0846-45-5370)
- 種苗の入手先について
(社) 日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

■「シャインマスカット」の特徴（長梢種なし栽培）

品種名	収穫日	果粒重 (g)	糖度 (%)	酸含量 (g/100ml)	渋み	果肉特性	果肉硬度	裂果性
シャインマスカット	8月25日	11.8	19.2	0.29	なし	噛み切れやすい	硬	なし
デラウェア	8月7日	2.1	20.8	0.76	なし	噛み切れにくい	中	なし
巨峰	8月23日	13.3	19.8	0.55	なし	中間	中	なし

【西南のひかり】β-クリプトキサンチンが多く、年内に収穫できる高品質みかん

【特徴】

果実は平均180g程度で、果皮は濃橙色で、薄くて軟らかく剥きやすいです。果肉は濃橙色で、肉質は軟らかく果汁量は多く、じょうのう膜は薄く食べやすい品種です。

減酸が早く、露地栽培において12月上中旬に成熟する早生のみかんタイプの品種です。オレンジと「アンコール」を混合した芳香があることも特徴です。

また、果肉には機能性成分として注目されるβ-クリプトキサンチンを高濃度で含有し、年末出荷用の高品質カンキツとして期待されています。



「西南のひかり」の果実

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
果樹研究所 カンキツ研究領域
(TEL 054-369-7109) (FAX 054-369-7100)
- 種苗の入手先について
(社) 日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

■「西南のひかり」の果実特性

品種名	果実重 (g)	果皮色	成熟期	糖度 (%)	クエン酸含量 (g/100ml)	種子数	β-クリプトキサンチン含量* (mg)
西南のひかり	191	濃橙	12月中旬	14.6	0.61	2.3	2.3
はれひめ	196	橙	12月上旬	10.5	0.59	0.3	0.7
太田ボンカン	152	橙	12月中旬	13.5	0.77	7.8	0.8

*:果肉100g当たりの含有量

【ぼろたん】渋皮が剥けやすい大粒ニホングリ

【特徴】

純粋なニホングリですが、軽く加熱することでチュウゴグリ並みに渋皮が簡単に剥けます。

「丹沢」の後に成熟する早生品種です。果実の大きさは30g程度と大きく、果肉の黄色味が強く、肉質は粉質で優れ、甘味や香気も多く食味も良好です。

焼き栗、マロングラッセ、甘露煮、栗ご飯、ケーキ等の加工に適します。

現在、熊本県、奈良県、埼玉県、茨城県、岐阜県、兵庫県等で生産されています。

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
果樹研究所 品種育成・病害虫研究領域
(TEL 029-838-6464) (FAX 029-838-6437)
- 種苗の入手先について
(社) 日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)
- 生産物の購入について
JA 熊本果実連
(TEL 096-389-3313) (FAX 096-389-3366)



「ぼろたん」の渋皮剥皮性
(ナイフで傷を付け、電子レンジで2分間加熱した果実)



「ぼろたん」の焼き栗



「ぼろたん」のピラフ

■「ぼろたん」の果実特性

品種名	果実重(g)	果肉色	肉質	甘味	香気
ぼろたん	31	黄	4.4	4.0	3.4
丹沢	28	黄	4.3	3.3	3.2

肉質、甘味、香気を5段階で官能評価 数値が大きい方が高評価

【露茜】赤い色素たっぷり梅酒・梅ジュース用品種

【特徴】

スモモとウメの雑種で、果皮がほぼ全面に赤く着色し、果肉も鮮紅色に着色する品種です。つくば市での収穫期は7月中旬で、「南高」より3週間程度遅いです。

酸味が強く生で食べることはできませんが、梅酒や梅ジュース、梅ジャムにすると、きれいな紅色になります。赤色の果汁を生かしたウメ加工品など、新需要を見込める素材です。

果実は50～70gと大きく、核(種)が小さく果肉割合が高いです。酸は「南高」と較べて30%程度少なく、多量に糖類を加えることなく加工できるので、お菓子や料理などへの幅広い利用が考えられます。

現在、茨城県、宮崎県、和歌山県等で植栽が始まっています。

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
果樹研究所 品種育成・病害虫研究領域
(TEL 029-838-6466) (FAX 029-838-6437)
- 種苗の入手先について
(社) 日本果樹種苗協会 (TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)
- 生産物の購入について
果樹研究所 業務推進室 (TEL 029-838-6443) (FAX 029-838-6440)



「露茜」の結実状態

「露茜」の果肉



「露茜」の梅酒、梅ジュース

■「露茜」の果実特性

品種名	果実重(g)	核の重さ(g)	果肉歩合(%)	酸含量(g/100ml)
露茜	52	1.9	96.3	3.9
南高	47	3.6	92.4	5.5

【花恋(かれん)ルージュ】

病気に負けない真っ赤で可憐なカーネーション

【特徴】

カーネーション栽培の重要病害である萎凋（いちょう）細菌病に極めて強い抵抗性を持つ世界で初めての品種です。近縁の野生種 *Dianthus capitatus* の有する抵抗性を15年以上かけて交配と選抜を繰り返して、カーネーションに導入しました。

特に病害の発生が予想される暖地における栽培での利用が期待されます。花の大きさは約7.5cm、赤色の大輪スタンダードの中生品種です。病気に負けない真っ赤なカーネーションは、母の日の贈り物としても最適です。



花恋ルージュ



萎凋細菌病抵抗性検定の様子
左 花恋ルージュ 右 フランセスコ

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

花き研究所 花き研究領域
(代) (TEL 029-838-6801)
(E-mail www-flower@naro.affrc.go.jp)

●種苗の入手先について

花き研究所 企画管理室
(TEL 029-838-6807)

■花恋ルージュの特性

品種名	草丈 (cm)	花の大きさ (cm)	切り花重 (g)	茎の太さ (mm)	年間収量 (本/株)	萎凋細菌病発病率 (%)
花恋ルージュ	97.3	7.5	22.0	4.1	4.5	7.1
フランセスコ	102.6	7.6	20.2	4.1	5.0	87.0

【ミラクルルージュ

ミラクルシンフォニー】

花持ち性に優れるカーネーション

【特徴】

遺伝的に優れた花持ち性を示すカーネーション品種を開発しました。

花持ち日数は、気温23℃の条件で20.6～20.7日と、従来品種の約3倍であり、従来品種の品質保持剤(STS)処理よりも優れます。

近年カーネーション切り花の輸入が急増していますが、外国産の安価な切り花に対抗していく上で、優れた花持ち性という高付加価値を持った両品種の栽培普及が期待されます。

現在、茨城県、栃木県で生産されています。



ミラクルルージュ



ミラクルシンフォニー

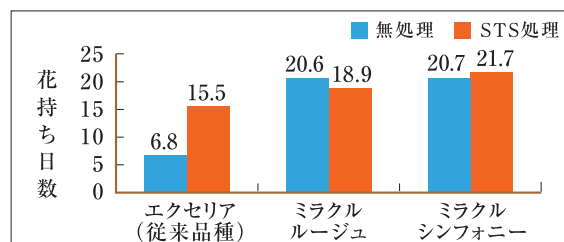
【問い合わせ先】

●品種の特徴について

花き研究所 花き研究領域 (代) (TEL 029-838-6801)
(E-mail www-flower@naro.affrc.go.jp)

●種苗の入手先について

花き研究所 企画管理室 (TEL 029-838-6807)



花持ち日数の比較(無処理、STS処理) (n=10 23℃、70%RH、12時間日長)

【札幌1号・札幌2号】青花で甘い香りを持つアリウム

【特徴】

アリウム「札幌1号」(ブルーパフェーム)は濃青色、「札幌2号」(スカイパフェーム)は淡青色の花で、バニラエッセンスに似た甘い香りがあります。

花茎は70~100cmと長く、花持ちも良いため切り花や花壇植えに利用できます。また耐寒性は強く、北海道での露地栽培が可能です。

現在、北海道、熊本県、宮城県、長野県などで切り花生産が行われており、2月から7月にかけて出荷されています。



札幌1号



札幌2号

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター
(代)(TEL 011-851-9141) (FAX 011-859-2178)
水田作研領域 水田・園芸グループ
(TEL 011-857-9304)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画管理部 業務推進室
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

■切り花の特性(札幌、露地栽培)

品種名	開花日 (月/日)	花序径 (mm)	小花数 (個/花序)	切り花長 (mm)	花茎径 (mm)	葉数 (枚/株)	葉長 (mm)
札幌1号	6/15	87	617	75	5.5	4.6	48
札幌2号	6/17	74	544	92	5.1	4.0	53
カエルレウム	6/25	60	234	82	4.4	4.0	45

【おいCベリー】7粒で1日分のビタミンCを摂取できる 促成栽培向けイチゴ

【特徴】

果実は、ビタミンCが市販品種の中で最も多い「さちのか」の約1.3倍、「とよのか」の約1.6倍含まれ、さらに高い抗酸化活性を有しています。また、果実は「とよのか」より大きく、濃赤色で光沢があり、糖度が高く、食味も良好で、日持ち性も優れています。

早晩性は「とよのか」並で、促成栽培に適しています。普通促成栽培では年内収量および2月末までの早期収量は「とよのか」より少なめですが、4月末までの収量は「とよのか」より多く、商品果率が高い品種です。

うどんこ病には中程度の抵抗性を持ちますが、萎黄病および炭疽病に対する抵抗性はありません。



収穫最盛期の「おいCベリー」



高ビタミンCが魅力

■「おいCベリー」の特徴(促成栽培)

品種名	総収量 (kg/a)	商品 果率 (%)	平均 果重 (g)	ビタミンC (mg/100gFW)	抗酸化活性 ^z (μ mol-Trolox 当量/gFW)	糖度 (Brix%)	果実 硬度 (N)	食味
おいCベリー	590	67	15.2	87(6.5) ^x	19.7(138) ^y	9.4	2.6	良
とよのか	474	57	13.3	54(12.3)	14.3(100)	8.5	2.0	良
さちのか	580	64	12.2	68(10.4)	15.7(110)	9.1	2.4	極良

^zDPPH ラジカル消去活性測定法で算出、^y「とよのか」を100とした場合

^x成人男性1日あたりビタミンC摂取基準量100mg(厚生労働省日本人の食事摂取基準(2005年版)の摂取に必要な個数)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター イチゴ育種研究グループ
(TEL 0942-43-8362) (FAX 0942-43-7014)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 業務推進室運営チーム
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-242-7769)

【なつあかり】一季成りの食味に追いついた四季成りイチゴ

【特徴】

四季成り性イチゴ品種は、冬から春にかけて栽培される一季成り性の主要品種(さちのか、とちおとめなど)と比較すると、食味をさらに改良する必要があるといわれてきました。

四季成り性品種「なつあかり」は、一季成り性品種と同等のおいしさを持つイチゴです。四季成り性イチゴは、夏秋期に主にケーキ用に生産されますが、「なつあかり」であればこの時期の生食用(贈答用)にも使えます。また、夏秋期だけでなく、これまでは一季成り性品種を用いてきた初冬～春の促成栽培に「なつあかり」を使うことで、より長期間おいしい果実を出荷できます。

現在、北東北の一部で栽培が始められています。



果実の形状

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
東北農業研究センター
畑作園芸研究領域野菜花き担当
(TEL 019-641-9214)
- 種苗の入手先について
東北農業研究センター
業務推進室運営チーム
(TEL 019-643-3437)

品種名	各順位の人数				順位の平均
	1位	2位	3位	4位	
なつあかり(四季成り)	3	4	4	5	2.7位
さちのか(一季成り)	4	2	4	6	2.8位
女峰(一季成り)	5	3	3	5	2.5位
とちおとめ(一季成り)	4	7	5	0	2.1位

【フェーリア】整枝作業時間を5割短縮できる省力栽培が可能なメロン

【特徴】

多くの側枝が20cm未満で伸長を停止するため、短い側枝の除去作業が不要で、整枝・誘引作業に要する時間は慣行栽培に比べて5割程度短縮できます。単性花型(雌花と雄花を付けるタイプ)のメロンであるため、短い側枝を放任した場合でも、自然着果による余剰果の発生は少なく、摘果作業を軽減できます。

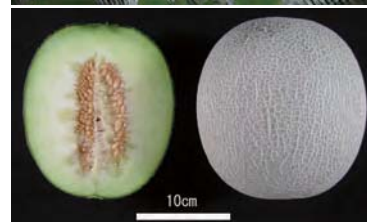
果実はやや縦長で、果皮は灰緑色でネットが密に発生します。果肉は淡緑色で、食味に優れます。

メロンの重要病害であるうどんこ病(レース1)、つる割病(レース0およびレース2)に対する抵抗性があります。

高温・強光条件では側枝が伸長し、短側枝性が発揮されないことから、比較的低温・寡日照条件となる促成および半促成作型に適しています。



「フェーリア」の側枝



「フェーリア」の果実

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
野菜茶業研究所 野菜育種・ゲノム研究領域
(TEL 050-3533-4610) (FAX 059-268-1339)
- 種苗の入手先について
野菜茶業研究所 業務推進室
(TEL 050-3533-3815) (FAX 059-268-3213)

■「フェーリア」における省力性の評価および果実特性

品種名	省力性の評価			花型	果実特性	
	整枝・誘引時間(h/10a)	側枝長(cm)	余剰果(個/株)		果実重(g)	糖度(Brix)
フェーリア	27.1	19.2	0.4	単性花	1406	13.2
アンデス5号	52.3	49.9	1.3	両性花	1612	11.4

側枝長は第11～20節に発生した側枝の長さの平均値を示す。なお、最大側枝長を50cmとして測定した。

【すずこま】初の低段密植養液栽培用、そのまま食べてはもったいないクッキングトマト

【特徴】

低段密植養液栽培用に育成された初めてのトマト品種です。苗を500～1000株/aの高密度で養液栽培し、短期間に収穫を終えて年3～4作程度植え替えます。コンパクトな草姿の心止まり性であるため、腋芽かきや頂芽摘心が不要である上、誘引作業も簡単です。ジョイントレス性を持つため、省力的なヘタなし収穫が可能です。茎の緑色をいかした房どりも可能です。

また、従来から栽培されていたクッキングトマト品種「にたきこま」と同じように土耕の露地または雨よけ栽培もできます。この場合、早生である特徴を活かして、「にたきこま」より早植えまたは遅植えして、長期間収穫を続けることが可能です。

糖度は低めですが、加熱調理した時の食味や色が優れ、クッキングトマト用に適しています。

JA全農との共同育成品種です。



低段密植養液栽培中の「すずこま」



「すずこま」の収穫物（左：ヘタなし収穫 右：房どり）

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター 畑作園芸研究領域
野菜花き担当 (TEL 019-641-9244)

●種苗の入手について

東北農業研究センター 業務推進室運営チーム
(TEL 019-643-3437)

■ トマト「すずこま」の低段密植養液栽培結果^a

品種・系統名	心止まり高 (cm)	草丈 (cm)	収穫開始日	収穫終了日	収穫期間 (日)	収量 (g/株)	収量比	1果重 (g)	果数 (個/株)	糖度 (Brix%)
すずこま	60	94	102℃	138℃	36	1459	222	28	52	4.9
桃太郎ヨーク		69	96℃	131℃	35	600	100	135	4	5.4
にたきこま	114	192	104℃	137℃	33	1314	195	50	32	5.6

^a: 全農営農・技術センター（平塚）にて低段密植養液栽培、1000株/a、「桃太郎ヨーク」は1段摘心

^b: 標準品種「桃太郎ヨーク」の収量に対する% ^c: 播種からの日数

【TC2A】とても甘く、ほっこりした粉質のかぼちゃ

【特徴】

果実は2kg程度で、果皮は濃緑色で果実の先端が凸となります。果肉が厚く、橙黄色です。とても甘く、ほっこりとした粉質の食感です。

電子レンジで温めたり、蒸してそのまま食べても美味しくいただけます。また、天ぷらなどの揚げ物、コロケなどのほか、果肉の色がとても綺麗ですので、ポタージュやお菓子の材料としても最適です。既に、カボチャプリンに利用され、ようかんなどの素材としても試作されています。

生育初期につるが伸びにくく、株もとに果実が着生して収穫しやすいため、省力栽培に向く特徴もあります。

現在栽培面積は100haを超え、北海道を中心に、九州、沖縄地方で多く生産されています。



濃緑の皮で見栄えが良い



色が明るいのでスープやムースなどに最適

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター
(代)(TEL 011-851-9141) (FAX 011-859-2178)
水田作研究領域 水田・園芸グループ (TEL 011-857-9306)

●種子の購入について

TC2Aは「ほっとけ栗たん」の名前で販売されています。
渡辺探種場 (TEL 0229-32-2221)

●生産物の購入について

JA道央 (TEL 0123-36-1122)

品種名	果重 (kg)	糖度 (Brix)	乾物率 (%)	色
TC2A	1.95	13.4	22.0	橙黄
えびす	1.70	10.6	17.2	濃黄

【あのみり】授粉やホルモン処理なしでも実の着くナス

【特徴】

花粉を雌しべに授粉しなくても植物ホルモン剤を処理しなくても果実が肥大する単為結果性を有しています。

着果促進処理が不要なことや側枝の伸長がゆるやかで整枝が容易なことから、省力栽培が可能です。

果実は長卵形で、果皮の光沢に優れ、外観は良好です。果肉は白く、肉質は緻密で、食味も良好です。

特別な病虫害抵抗性はないので、土壌病害の発生地では抵抗性台木への接ぎ木が必要です。

普及面積は拡大中で、北海道、宮城県、埼玉県、茨城県、三重県、奈良県、鹿児島県等、各地で生産されています。



「あのみり」の外観



果肉が白くてきれい

■「あのみり」の特徴

品種名	単為結果率 (%)	収穫果実の形質			
		果長 (mm)	果径 (mm)	果形	1果重 (g)
あのみり	100	150	61	長卵	138
千両二号	0	164	54	長卵	115
筑陽	0	189	48	中長	116

単為結果率は除雄した花数に対する正常肥大した果実数の割合とした。なお、各品種・系統とも5株を供試し、11～12月に各株につき5花を除雄した。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

野菜茶業研究所 野菜育種・ゲノム研究領域
(TEL 050-3533-4612)

●種苗の入手先について

野菜茶業研究所 業務推進室
(TEL 050-3533-3815) (FAX 059-268-3213)

【あきめき】根こぶ病と黄化病に抵抗性のハクサイ

【特徴】

「あきめき」は、*Crr1*と*Crr2*および「秋理想」の親（花粉親）に由来する別の根こぶ病抵抗性遺伝子の計3種類の抵抗性遺伝子を有します。ハクサイF₁品種「CR隆徳（りゅうとく）」と「SCRひろ黄（ひろき）」が示す抵抗性の違いによりグループ化された4種類の根こぶ病菌系の全てに抵抗性を示す初めてのハクサイ品種です。

また、黄化病汚染圃場で栽培した場合にも発病しにくい品種です。播種後約75日で収穫可能で、出荷時の球長は約30cm、重さは2.5～3kg程度であり、根こぶ病抵抗性以外の特性は「秋理想」に類似します。



「あきめき」の収穫物外観と結球断面

■4グループの根こぶ病菌に対する「あきめき」の抵抗性

品種名	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
あきめき	R	R	R	R
はくさい中間母本農9号 ^{*1}	R	R	PRまたはS	R
CR隆徳	S	S	R	R
SCRひろ黄	S	R	S	R
無双	S	S	S	S

Hatakeyamaら (2004) のグループ分けに従った

R: 抵抗性、PR: 一部抵抗性、S: 罹病性

^{*1}「はくさい中間母本農9号」はグループ3に属する菌によって弱い抵抗性から罹病性を示す

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

野菜茶業研究所 野菜育種・ゲノム研究領域
(TEL 050-3533-4604) (FAX 059-268-1339)

●種苗の購入について

株式会社日本農林社
(TEL 03-3916-3341) (FAX 03-3916-3344)

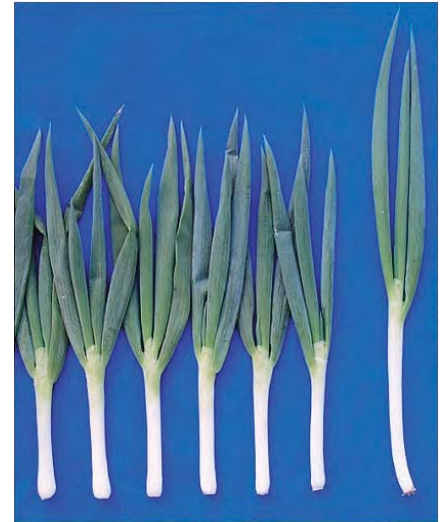
【ふゆわらべ】食味が良く省力的に栽培できる新タイプのネギ

【特徴】

葉が短く太りが旺盛で、軟白部が20cm程度のコンパクトなネギです。冬どり用ネギにおける栽培期間が通常品種より約2か月短く、土寄せ回数が2、3回に減らせるなど省力・低コスト栽培が可能になります。

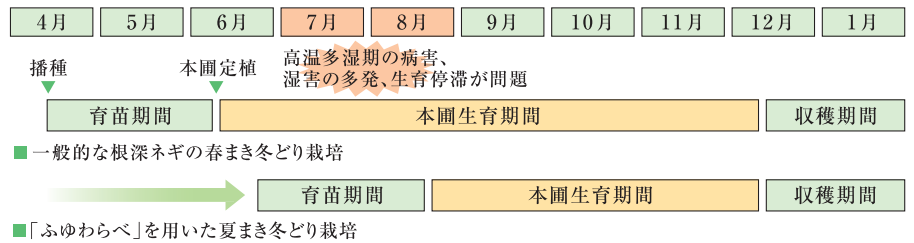
また、辛味が少なく、葉がやわらかい優れた食味特性を有するため、根深ネギの特徴を備えながら、緑葉部までまるごと食べられる新規ネギとしての利用が期待されます。用途は、白髪ネギ・薬味などの生食のほか、加熱調理に緑葉も一緒に利用できます。

関東以南の温暖地および暖地における夏まき冬どり(6月播種、12月～1月収穫)に適しており、盛夏期の病虫害や湿害を回避しやすい栽培が可能です。



「ふゆわらべの収穫物形状」
(右端は一般的な根深ネギ品種)

■「ふゆわらべ」を利用した作期



【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
野菜茶業研究所 野菜育種・ゲノム研究領域
(TEL 050-3533-4607)
- 種苗の入手先について
野菜茶業研究所 業務推進室
(TEL 050-3533-3815)
(FAX 059-268-3213)

【アンデスの乙女】皮色が赤紫色で鮮やかな多収性ヤーコン

【特徴】

株当たりの塊根数が多く、個々の塊根も大きいため収量性が極めて高く、塊根表面のひび割れが生じにくい高品質高生産性の品種です。地上部の生育が旺盛なことから夏期にヤーコン茶として葉を利用しても塊根肥大への影響はほとんどありません。

収穫直後の塊根皮色は、これまでの品種にはない鮮やかな赤紫色です。肉色は淡いオレンジ色を帯びた黄色で、糖度は「サラダオトメ」とほぼ同じです。

既存品種と同様に高温・乾燥に弱いので、北海道、東北地方および西南暖地の高標高地での栽培に向きます。4月下旬～5月にかけて定植し、初霜の頃に収穫します。病虫害の発生はほとんどありません。



盛夏期のヤーコン草姿
(「アンデスの乙女」)



収穫直後のヤーコン芋
(左：アンデスの乙女、
右：サラダオトメ)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
近畿中国四国農業研究センター四国研究センター
作物機能開発研究領域
(TEL 0877-63-8130) (FAX 0877-63-1683)
- 種苗の入手先について
近畿中国四国農業研究センター 企画管理部
業務推進室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

■ヤーコン芋の特性

品種	収量特性			塊根特性			
	塊根数 (個/株)	塊根重 (kg/株)	収量 (kg/a)	裂根率 (%)	皮色	肉色	Brix (%)
アンデスの乙女	15.5	3.33	605	5.9	濃赤紫	淡橙黄	8.07
サラダオトメ	7.6	1.18	216	30.3	灰茶	黄白	8.14
在来系統	6.3	1.01	190	64.7	灰茶	淡黄	8.49

【たちすがた】乾物収量 2t/10a を実現した飼料イネ

【特徴】

「たちすがた」は、中生熟期で乾物収量2t/10aを実現した飼料用品種です。

出穂期は「日本晴」より5日早く、「タカナリ」より2日遅く、関東平坦部では“中生の中”熟期に属します。

可消化養分総量（TDN）収量も、「タカナリ」より26%、「日本晴」より19%多収で、稲発酵粗飼料に適します。

また、耐倒伏性に優れ、直播栽培にも適します。関東以西での栽培に適しています。



「たちすがた」の草姿

■ 黄熟期の乾物全重

黄熟期乾物全重 (t/10a)		
たちすがた	タカナリ	日本晴
2.02	1.62	1.75

■ TDN 収量

TDN 収量 (t/10a)		
たちすがた	タカナリ	日本晴
1.20	0.95	1.01

【問い合わせ先】

● 品種の特徴について

作物研究所 稲研究領域
(TEL 029-838-8950)

● 種苗の入手先について

作物研究所 企画管理室企画チーム
(TEL 029-838-8880)(FAX 029-838-7488)

【たちすずか】茎葉が多収で TDN 含量が高く、高糖分のホールクロップサイレージ用飼料イネ

【特徴】

「たちすずか」は、牛にとって消化の悪い粉が従来品種「クサノホシ」の3分の1程度と少なく、その分消化の良い茎葉の割合が高いため、可消化養分総量（TDN）が高く、乳牛では乳量を向上させる効果がみられます。また、発酵の際に乳酸菌のエネルギー源となる糖の含量が飛躍的に高いという特長があります。さらに、耐倒伏性に優れ、長期間の収穫作業が可能です。

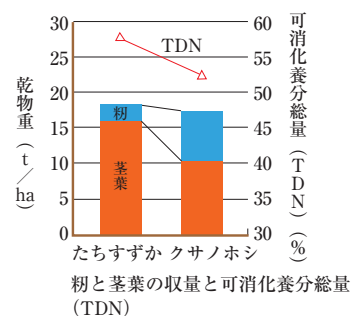
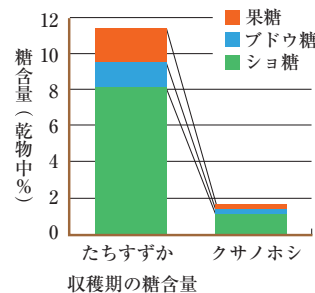
瀬戸内沿岸地域では「極晩生」で、関東以西の地域で栽培が可能です。縞葉枯病に抵抗性を持たないため、常発地帯では作付けできません。また、いもち病に対しては菌の変異に注意が必要です。



草姿と穂（左：たちすずか、右：クサノホシ）



耐倒伏性の違い
(左：たちすずか、右：クサノホシ)



【問い合わせ先】

● 品種の特徴について

近畿中国四国農業研究センター 水田作研究領域
水稻育種研究グループ
(TEL 084-923-5346) (FAX 084-924-7893)

● 種苗の入手先について

近畿中国四国農業研究センター 企画管理部
業務推進室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

【べこごのみ】多収で稲 WCS 用・飼料米用の両方に 【べこあおば】利用可能な東北地域向けの飼料イネ

【特徴】

「べこごのみ」は、東北地域中北部以南向けの早生品種です。早生の多収品種「アキヒカリ」と比べて、風乾全重で4%、黄熟期のTDN収量で6%多収です。玄米収量は650～700kg/10aで、「アキヒカリ」より5%多収です。直播栽培にも適しています。

「べこあおば」は東北地域中南部以南向けの中生品種です。中生の多収品種「ふくひびき」と比べて、風乾全重で15%、黄熟期のTDN収量で10%多収です。玄米収量は700～750kg/10aで、「ふくひびき」に比べて6%の多収となります。玄米は極大粒で、食用品種と識別できます。

両品種とも耐冷性が不十分なため、冷害の発生しやすい地帯には適しません。



「べこごのみ」の草姿

「べこあおば」の草姿

【問い合わせ先】

●品種の特徴について
東北農業研究センター 水田作研究領域
稲育種担当
(TEL 0187-66-2773)

●種苗の入手先について
東北農業研究センター 業務推進室運営チーム
(TEL 019-643-3437)

■「べこごのみ」、「べこあおば」の出穂期、稈長、風乾全重と玄米収量

品種名	出穂期 (月/日)	稈長 (cm)	風乾全重 (kg/a)	同左比率 (%)	玄米収量 (kg/a)	同左比率 (%)
べこごのみ	7/25	79	155	104	68.6	105
アキヒカリ	7/29	75	149	100	65.2	100
べこあおば	8/7	70	177	115	73.2	106
ふくひびき	8/4	72	154	100	68.9	100

注)「べこごのみ」:2003-2006年平均 「べこあおば」:1999,2002-2004年平均

【たちぴりか】耐倒伏性とすす紋病抵抗性に優れる 寒地向き極早生とうもろこし

【特徴】

サイレージ用トウモロコシの寒地の栽培限界地帯である北海道の根釧および道北地域に適する品種です。

草丈は低いですが雌穂の大きいのが特徴で、乾物中の雌穂の割合が多く栄養価の高いサイレージ原料を生産することができます。耐冷性に優れており、良好な初期生育を示すとともに低温による雄穂の発育障害を生じにくいです。

また、近年その被害が拡大しているすす紋病に対して極強レベルの抵抗性をもち、耐倒伏性も強いことから、栽培限界地帯での安定栽培が可能です。

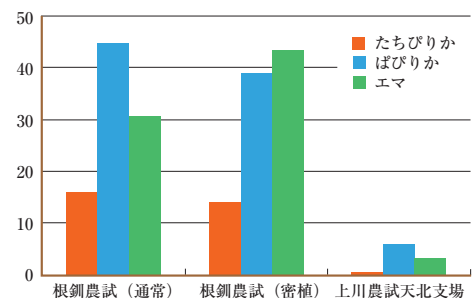


たちぴりかのすす紋病抵抗性
左：市販外国品種、右：たちぴりか

【問い合わせ先】

●品種の特徴について
北海道農業研究センター
(代)(TEL 011-851-9141)(FAX 011-859-2178)
酪農研究領域 トウモロコシ育種班
(TEL 011-857-9317)

●種苗の入手先について
北海道農業研究センター 企画管理部 業務推進室
(TEL 011-857-9410)(FAX 011-859-2178)



たちぴりかの耐倒伏性
いずれの場所、栽植密度でも倒伏が少ない

【なつむすめ】雌穂収量が多い晩播・夏播き用 とうもろこし

【特徴】

雌穂が大きく、地上部全体のTDN収量が高い品種です。晩播栽培では「3470」や「SH9904」より14%多収で、TDN収量は19%多収となります。

晩播栽培で多発する南方さび病の発生がほとんどなく、地上部の緑度を保ちます。

特に晩播・夏播き栽培で減収の要因となる倒伏にも強く、これまでの晩播・夏播き用品種並かそれより優れています。

九州地域におけるイタリアンライグラス収穫後の晩播栽培や、とうもろこし二期作の二作目として、ワラビー萎縮症が発生していない地域での夏播き栽培に適します。

雌穂が多収



なつむすめ

3470

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 畑作研究領域
トウモロコシ育種グループ
(TEL 0986-24-4275)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 業務推進室
(TEL 096-242-7536)(FAX 096-242-7769)

■ TDN多収で南方さび病と倒伏に強い(晩播栽培)

品種名	収量(kg/a)		TDN収量 (kg/a)	南方さび病 1:無-9:甚	倒伏株率 (%)
	全体	雌穂			
なつむすめ	137.7	63.0	91.8	1.9	33.3
3470	120.7	50.8	77.1	3.7	44.4
SH9904	121.2	40.3	72.9	2.7	45.0
KD850	123.7	51.3	79.9	3.8	52.5

【しまのうしえ】黒穂病に強く、奄美以南でも 安定生産可能な飼料用サトウキビ

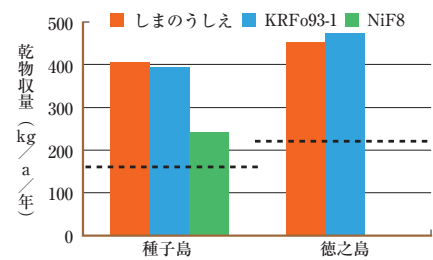
【特徴】

黒穂病に強い抵抗性を示す「しまのうしえ」は、黒穂病の発生懸念から飼料用サトウキビの普及が遅れていた奄美以南での栽培・利用が推奨されます。ローズグラスの約2倍の乾物収量が得られ、トウモロコシやソルガムなどの他の長大型飼料作物に比べて台風や干ばつなどの気象災害に強く、安定的に栽培できます。年2回の収穫が可能で、刈り取りの遅れによる栄養性や嗜好性の低下がなく、柔軟な収穫設定が可能となります。繁殖雌牛の粗飼料としての利用に適していますが、肥育素牛や乳牛への給与も可能です。

なお、種子島以北での利用には既存品種「KRFo93-1」を推奨しています。



左:しまのうしえ 右:KRFo93-1(種子島)



【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 種子島試験地
作物開発・利用研究領域 さとうきび育種グループ
(TEL 0997-25-0100) (FAX 0997-25-0888)

●種苗の入手先について

同上

■「しまのうしえ」の主な特性

品種名	発芽性	萌芽性	分けつ性	黒穂病 抵抗性	さび病類 抵抗性	IVDMD (%)
しまのうしえ	良	極良	強	強	強	45.0
KRFo93-1	極良	極良	やや強	中	やや強	44.9
NiF8	良	良	中	強	強	48.8

1) IVDMD (インビトロ乾物分解率) は試験期間中の平均値を示す。

【優春】硝酸態窒素およびカリウム濃度が低いイタリアンライグラス

【特徴】

硝酸態窒素濃度は市販品種中で最も低い「ワセアオバ」と同程度かやや低く、カリウム濃度は市販品種中で最も低く、多肥条件でも品質が悪化しにくいことが特徴です。

耐倒伏性は強で「ワセアオバ」より優れており、収量性は市販品種と同程度です。二倍体の早生品種であり、東北南部から九州地域までの積雪の少ない地域に適しています。

ただし、極端な多施肥条件では、「優春」においても急性硝酸塩中毒の基準値（乾物あたり0.2%）を上回ることがあります。

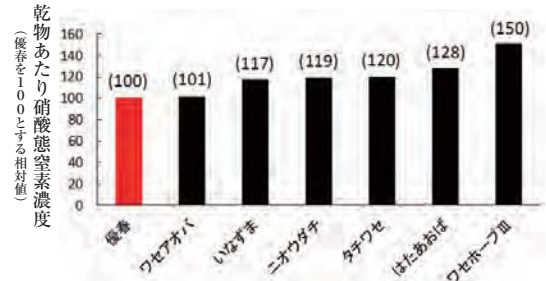
茨城県、雪印種苗との共同育成品種です。

【問い合わせ先】

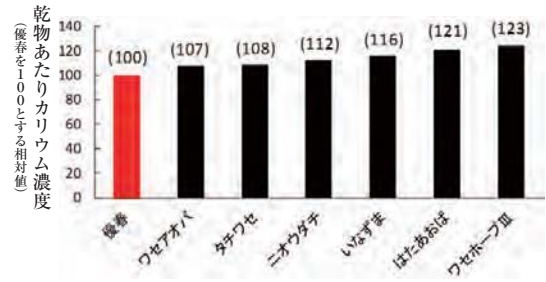
- 品種の特徴について
畜産草地研究所 問い合わせ専用フォーム
<https://form.affrc.go.jp/nilgs-naro/inquiry/form02.html>
- 種苗の購入について
雪印種苗株式会社 種苗部種苗課
(TEL 043-259-7488) (FAX 043-298-9166)



「優春」の草姿



「優春」の硝酸態窒素濃度 (多施肥条件で栽培した2006年～2009年の3作平均)



「優春」のカリウム濃度 (多施肥条件で栽培した2006年～2009年の3作平均)

【たちいぶき】自給飼料生産とサツマイモネコブセンチュウの増殖抑制に貢献するエンバク

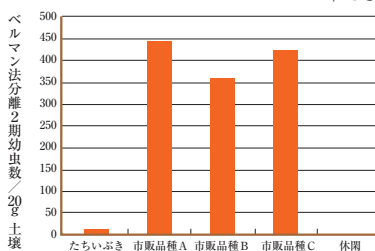
【特徴】

「たちいぶき」は、冠さび病抵抗性と耐倒伏性に優れる多収の極早生品種で、晩夏に播種して年内に収穫する夏播き栽培に利用され、長野県、山口県、香川県、長崎県で奨励品種に指定されています。その一方で、「たちいぶき」を栽培することで、多くの農作物に被害を及ぼすサツマイモネコブセンチュウの増殖を抑制する効果があることが示され、九州地域では、「たちいぶき」を9月に播種して12月に収穫する作型でその効果が発揮されることが確認されました。

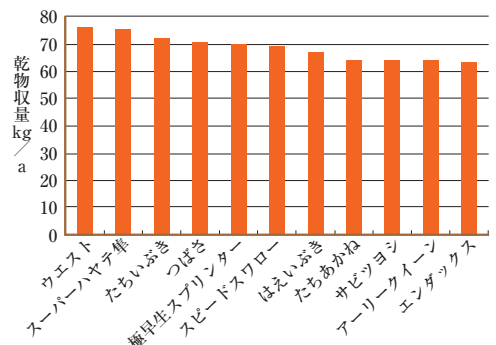
種子は各種苗会社から販売されています。

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
九州沖縄農業研究センター
畜産草地研究領域 飼料作物育種グループ
(TEL 096-242-7754) (FAX 096-249-1002)
- 種子の入手先について
社団法人日本草地畜産種子協会
(TEL 03-3251-6501) (FAX 03-3251-6507)



エンバク夏播き圃場 (播種98日後) におけるサツマイモネコブセンチュウの密度 (播種時2期幼虫密度: 11.0頭/20g土壌…ツバ連作跡)



夏播き栽培 (9月上旬播種・年内収穫) における「たちいぶき」の収量性 (2003-2005年の平均値、熊本)



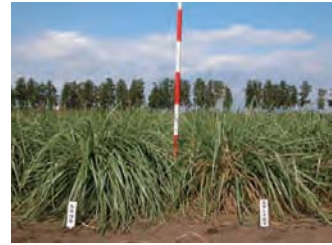
夏播き栽培での「たちいぶき」の草姿

【ウシブエ】越夏性・永続性に優れる トールフェスク

【特徴】

「ウシブエ」は、寒地型牧草の中でも最も環境適応性が高く、九州等暖地で基幹草種として利用されているトールフェスクの中でも、特に越夏性、永続性に優れた中生の多収品種です。このため、既存品種の利用で、夏枯れや永続性に悩んでいる地域でも利用できます。また、生育環境がより厳しい低標高地での利用も期待されます。

種子は各種苗会社から入手可能です。



越夏後の草姿 (2004年10月13日、熊本県合志市)
左：ウシブエ 右：サザンクロス



越夏後の欠株状況 (2006年9月12日、熊本県合志市)
左：ウシブエ 右：サザンクロス

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域
飼料作物育種グループ
(TEL 096-242-7754) (FAX 096-249-1002)

●種子の入手先について

社団法人日本草地畜産種子協会
(TEL 03-3251-6501) (FAX 03-3251-6507)

■「ウシブエ」の特徴

品種名	出穂始日	年間 乾物収量 (kg/a)	越夏後の 再生程度	利用3年目の 最終番草 乾物収量 (kg/a)	利用3年目の 秋の被度 (%)
			1：極不良－ 9：極良		
ウシブエ	4/24	168.9	5.9	22.9	83
サザンクロス	4/26	161.3	5.8	21.7	76

系統適応性検定試験（9場所、3年間）の試験結果。

【朝萌・朝駆】密度の高い緑化用シバ 及び被覆の早い土壌保全用シバ

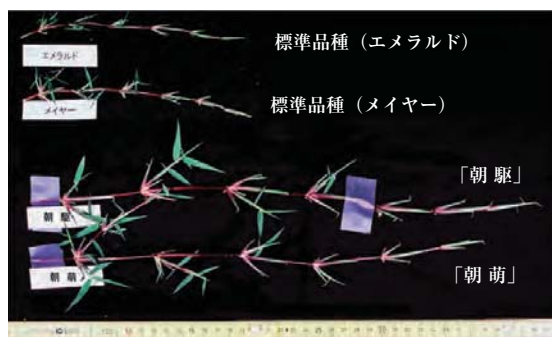
【特徴】

「朝萌」：芝密度・草高ともに高いため、雑草が繁茂しにくい品種で、グラウンド造成や公園緑地等に適しています。匍匐茎の伸長性も「朝駆」に次いで優れています。

「朝駆」：匍匐茎の伸長性に優れており、いち早く地表を被覆するため、土壌保全や放牧地造成に適しています。匍匐茎は太く葉も長いですが、芝密度がやや低いため芝生用には「朝萌」の方がお奨めです。



「朝萌」で造成した
サッカーグラウンド
(栃木県那須町)



匍匐茎が太くて
長いシバ品種
「朝駆」、「朝萌」

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

畜産草地研究所 問い合わせ専用フォーム
<https://form.affrc.go.jp/nilgs-naro/inquiry/form02.html>

●種苗の購入について

株式会社宮崎芝園 (両品種の張芝を生産・販売)
<http://www.miyazakisiba.com/index.html>
(TEL 0985-48-1580) (FAX 0985-47-5182)



rice

Wheat and Barley

Soybean

potatoes

Cereals and Industrial crop

Fruit tree

Flower

Vegetable

Forage Crop and Ground-cover plant

2012	National Agriculture and Food Research Organization	
	 農研機構 品種リスト集	
contents	米	37~38
	麦類	38~39
	小麦 大麦 裸麦	
	大豆	39~40
	いも類	40~41
	ジャガイモ サツマイモ	
	雑穀	41
	ゴマ アマランサス ソバ ダツタンソバ ハトムギ	
	工芸作物	41~42
	テンサイ サトウキビ ナタネ	
	茶	42
果樹	42~44	
アンズ ウメ カキ カンキツ キンカン クリ ナシ 西洋ナシ ブドウ ブルーベリー モモ リンゴ		
花・鑑賞作物	44	
稲 カンキツ キク サツマイモ ツバキ ツバキ×チャ バラ モモ		
野菜	45~46	
イチゴ キュウリ サツマイモ スイカ タマネギ トマト とうがらし ナス ナバナ ネギ ハクサイ メロン ヤーコン レタス		
飼料作物・牧草	46~48	
アカクローバ アルファルファ エンバク オーチャードグラス ギニアグラス 飼料イネ 飼料サトウキビ トウモロコシ オーチャードグラス イタリアンライグラス ソルガム トールフェスク フェストロリウム メドウフェスク		

分類	品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名
米	笑みの絆	高温耐性に優れ、寿司米に向く水稻品種です。炊飯米は、表面がなめらかで、やや硬く、ほぐれやすい特性を持ち、あっさりした食感です。寿司米に向きます。また、登熟期の高温耐性があり、玄米の外観品質の安定性にも優れます。	島根県の農業生産法人が生産および製品化を予定	2011年5月20日	中央研
	楽風舞	高度精米耐性を有し、清酒および泡盛に向く酒造好適米品種です。清酒での酒質は淡麗に仕上がりが、泡盛では口当たりのソフトな「軽快」で「華やか」な酒となります。また、栽培しやすく国産米からの高品質な泡盛の醸造が可能となります。	清酒は新潟県、泡盛は沖縄県の酒造メーカーが製品化を予定。新潟県、沖縄県で生産	2011年5月20日	中央研
	はるもに	「ヒノヒカリ」熟期の温暖地～暖地向き中生種です。いもち病、縞葉枯病に抵抗性の遺伝子を持ち、またトピロウankaにも耐性を持ち減農薬栽培等に適した品種です。米の外観品質が良く、高温下でも品質は良好で、収量や食味は「ヒノヒカリ」と同等です。	今後普及先を検討予定	2011年4月8日	九州研
	やまだわら	食味が「日本晴」並で温暖地に適した極多収なうるち品種です。除草剤成分ベンゾピシクロンに感受性であるため、利用許諾に当たっては条件を付しています。	山口県で酒造掛米用として生産	2011年3月30日	作物研
	ほしじるし	「コシヒカリ」に近い食味で収量性が高い中生品種です。縞葉枯病抵抗性を有し、麦後の晩植栽培に適しています。また、耐倒伏性が強く、直播栽培にも適します。	2011年に茨城県、栃木県で試作開始	2011年3月16日	作物研
	コシヒカリ 関東BL1号	いもち病抵抗性遺伝子 <i>Pi9</i> を持つ「コシヒカリ」の同質遺伝子系統で、「コシヒカリ」のマルチラインを構成する新たな品種として利用できる。		2011年3月16日	作物研
	ヒノヒカリ 関東BL1号	いもち病抵抗性遺伝子 <i>Pita</i> を持つ「ヒノヒカリ」の同質遺伝子系統で、「ヒノヒカリ」のいもち病抵抗性マルチラインを構成するひとつの品種として利用できる。		2011年3月16日	作物研
	ゆきがすみ	粘りが強く「おぼろづき」「ゆめびりか」並の極良食味低アミロース品種です。耐冷性が強く多収です。北海道上川中部および留萌中南部以南での栽培に適します。	北海道で栽培	2010年9月8日	北農研
	ゆきさやか	「おぼろづき」「ゆめびりか」並の極良食味品種です。「おぼろづき」や「ゆめびりか」よりアミロース含有率の年次間変動が少なく品質が安定しています。タンパク質含有率も北海道の品種の中では最も低く、府県産「コシヒカリ」並です。	北海道で栽培	2010年9月8日	北農研
	さよむらさき	温暖地～暖地向きの、栽培しやすい紫黒もち米です。玄米の紫黒色が鮮明で、菓子、おこなど様々な用途に利用できます。	九州を中心に地場産品として生産	2010年5月21日	九州研
	もちだわら	インド型の極多収のもち品種です。米菓等加工向けに利用できます。	茨城県、栃木県などの一部農家が生産	2010年3月19日	作物研
	ほしのこ	米粉用の粉質米品種です。米粉の粒子が細かく、デンプン粒の損傷の少ない良質の米粉ができるので、特徴を活かした新たな製品開発が期待できます。北海道での栽培に適しています	北海道で試作中	2010年1月27日	北農研
	ミルキー サマー	DNAマーカーを利用して「ミルキーQueen」を早生化した良食味の低アミロース米品種です。沖縄県で有望視されています。	沖縄県が奨励品種として採用	2009年2月25日	作物研
	ミルキー スター	北関東の二毛作地帯に適した低アミロース米品種です。麦後栽培でも高い収量が得られます。	福島県、埼玉県の一部農家が生産	2009年2月24日	作物研
	紫こぼし	玄米のぬか層に紫色の色素アントシアニン、食物繊維などを含む、極小粒モチの紫黒米品種です。赤飯のほか多様な料理や加工品の素材としての利用が期待できます。東北中南部以南の栽培に適しています。	岩手県、福島県で産地品種銘柄設定、岩手県、福島県等で生産	2008年8月25日	東北研
	ゆきのめぐみ	北海道上川中南部および留萌中南部以南での栽培に適する、胚芽が2倍程度大きい北海道初の巨大胚品種です。GABAおよびビタミンEを多く含み、胚芽米や発芽玄米としての利用に向いています。	北海道で生産	2007年9月28日	北農研
	関東HD2号	「コシヒカリ」の出穂期だけをおよそ10日遅くした品種です。食味、収量は「コシヒカリ」と同等です。	兵庫県、福井県などの一部農家が生産	2007年9月28日	作物研
	関東BPH1号	我が国唯一のトピロウanka抵抗性品種です。食味、品質、収量は「ヒノヒカリ」と同等です。	熊本県、福岡県の一部農家が生産	2007年9月28日	作物研
	吟のさと	「山田錦」並の吟醸酒にも使える酒米品質を備えながら、倒れにくく多収で栽培しやすい暖地向きの酒米品種です。酒造メーカーと共同で酒造適性の評価を進め、製品も市販されています。	福岡県、岡山県、熊本県等で酒米として生産	2007年9月11日	九州研
	越神楽	酒米品種「山田錦」と「北陸174号」の交配組合せから育成した酒造好適米品種で、高度精米耐性があり、醸造時のアルコール収率およびアミノ酸度は「山田錦」並であり、生成酒は、やわらかさと深みのある酒質を示します。	新潟県で栽培	2007年8月27日	中央研
夕やけもち	玄米のぬか層にタンニン、カテキン、食物繊維を多く含むモチの赤米品種です。着色米飯、赤餅、赤米醸造酒などに向いています。早生で耐冷性が強く、東北地域中南部以南の栽培に適しています。	岩手県、秋田県、福島県で産地品種銘柄設定	2006年8月22日	東北研	
はいいぶぎ	通常品種の2倍から3倍の大きさの胚芽を持つため、 γ -アミノ酪酸（通称：ギャバ）を通常品種の2倍程度多く蓄積する品種です。さらに、胚芽が落ちにくいので分搗き米にして普通の精米と同じように炊飯することができます。	岡山県津山市の農家が栽培	2006年8月22日	近農研	
コシヒカリ 関東HD1号	「コシヒカリ」の出穂期だけを早くした品種です。暖地の早期栽培では、「コシヒカリ」より3～7日早生でコシヒカリ並みの良食味です。	茨城県行方市の一部農家が生産	2006年8月22日	作物研	

分類	品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名	
米	あきまさり	九州平坦部向けの晩生種です。既存品種より約10%多収で、出穂が遅いため高温登熟を回避でき、品質も良好です。食味は「ヒノヒカリ」と同等です。	熊本県、大分県(平20から)で奨励品種として生産	2005年8月11日	九州研	
	きぬむすめ	「日本晴」級の温暖地向けの早生種です。食味は「コシヒカリ」と同等以上で品質も良く栽培特性も安定しています。近畿中国四国地域の共同選定品種に選ばれています。	島根県、鳥取県、大阪府、和歌山県、山口県、兵庫県で奨励品種として生産、他に計4県で産地品種銘柄	2005年8月11日	九州研	
	あゆのひかり	糖質米品種で、水溶性多糖が全重量の30%含まれています。発芽玄米に加工した場合、乾物重量当たりのGABA含有量は一般品種の3倍です。高いGABA含量を活かした発芽玄米としての利用が期待されています。	茨城県、山形県で栽培	2005年8月11日	中央研	
	さとじまん	晩播栽培でも多収で、「コシヒカリ」並に食味が優れる一般食用品種です。温暖地東部では中生熟期の梗種で、縞葉枯病に抵抗性で麦後の晩播栽培に適しています。	奨励品種として神奈川県で生産	2005年8月11日	作物研	
	恋あずさ	玄米のGABA含量が一般品種「あきたこまち」玄米の6.5倍高い巨大胚の水稲品種で、発芽玄米等に向いています。耐冷性が強いので、東北中南部以南での栽培に適しています。	長野県、岩手県、埼玉県等で生産	2005年8月11日	東北研	
	ふくいずみ	「日本晴」級の温暖地～暖地向けの早生種です。直播栽培でも倒れにくく、既存品種より5～10%増収が可能です。いもち病に強いうえ、米の外観品質は安定して良く食味は「ヒノヒカリ」と同等です。	佐賀県の一部で試作	2005年8月11日	九州研	
	紅染めもち	温暖地～暖地向けの、丈が低く栽培しやすい赤もち米です。玄米の赤褐色が鮮明で、菓子、おこなど様々な用途に利用できます。	九州を中心に地場産品として生産	2005年8月11日	九州研	
	はなえまき	アミロース含有率が10%程度で、ブレンド用途に向いている低アミロース品種です。北海道での直播に適しています。種子は市販されていませんので、お問い合わせ下さい。	—	2003年8月11日	北農研	
	ちゅらひかり	いもち病に強いので減農薬栽培が可能な、「ひとめぼれ」並に良食味の一般籾米品種です。耐冷性が強く、東北中南部以南での栽培に適しています。	沖縄県で奨励品種	2003年8月11日	東北研	
	あきさやか	九州平坦部向けの晩生種です。食味は「ヒノヒカリ」並に良く、登熟性に優れ安定多収です。減肥栽培に向きます。	福岡県で奨励品種として生産	2002年8月1日	九州研	
	LGCソフト	消化されやすいタンパク質(グルテリン)が少ない、低グルテリン米と呼ばれる米です。また、低アミロースの形質を持っているため、ご飯の粘りが強く冷めても美味しいです。	認定品種として埼玉県で生産、福島、栃木、静岡、広島、島根、宮崎県で産地品種銘柄指定	2001年11月15日	近農研	
	朝紫	玄米のぬか層に紫色の色素アントシアニンなどを含むモチの紫黒米品種です。赤飯、菓子、麺、着色酒などに向いています。東北中南部以南の栽培に適しています。	山梨県で奨励品種(特定品種)、5県で産地品種銘柄設定、北海道を除く全国各地で生産	1994年3月31日	東北研	
	ふくひびき	酒造用の掛米、米菓加工用、飼料用米など、多用途に利用可能な、超多収性のうち品種です。草丈が低くて倒伏に強く、東北中南部以南の栽培に適しています。	山形県、福島県等で生産	1993年3月29日	東北研	
麦類	小麦	ゆきはるか	日本ではじめて育成した菓子専用品種です。蛋白質・灰分含量が少なく、スポンジケーキの膨らみ・食感が「キタカコムギ」よりすぐれます。やや早生で縞萎縮病にやや強く、やや穂発芽しにくい多収品種です。東北、北陸地域で長期積雪期間が80日以下の地帯に適します。		2011年1月28日	東北研
		銀河のちから	パン・中華麺用小麦品種です。グルテンの力が強靱な超強力小麦で、軟質小麦や米粉とのブレンド利用もできます。やや早生で縞萎縮病に強く、穂発芽しにくい品種です。東北、北陸地域で長期積雪期間が80日以下の地帯に適します。		2011年1月17日	東北研
		ふくあかり	通常的小麦よりややアミロース含量が低いため食感の良い麺(うどん)ができます。早生で穂発芽耐性に優れています。	奨励品種として福島県で生産	2010年12月8日	作物研
		ふくはるか	日本めん用の早生・短稈の硬質小麦で、製粉歩留とふりぬき抜けが優れます。やや低アミロースでめん食感が優れ、粉色は明るく黄色みを帯び、生地がやや強めでそうめんやうどんに適します。栽培適地は関東以西の平坦地です。	奈良県で奨励品種に採用	2008年10月22日	近農研
		ゆめちから	グルテンの力が極めて強い超強力小麦で、中力小麦粉とブレンドし、パン用・中華めん用に利用できます。コムギ縞萎縮病抵抗性が極めて優れ、発生地帯での小麦の安定生産につながります。	北海道の優良品種として生産	2008年9月12日	北農研
		あおばの恋	硬質であるため製粉歩留まりが高く、通常的小麦よりややアミロース含量が低いため食感の良い麺(うどん)ができます。穂発芽耐性、縞萎縮病抵抗性が優れています。	奨励品種として宮城県で生産	2008年1月21日	作物研
		もち姫	デンプン中にアミロースがほとんど含まれていないもち性小麦品種です。小麦粉は糊化温度が低く、膨張性が高く、新しい食感(もちもち感等、しっとり感)を持つ加工品を作ることができます。東北地域の気候に適しています。	青森県、岩手県で小面積栽培。サブレ、パン等もち性の特長を生かした製品が販売されている。	2006年12月8日	東北研
		トワイズミ	赤かび病に強く品質の優れる日本めん用品種です。製粉適性が高いです。	温暖地以西の平坦地、中間地に適した品種	2006年12月8日	九州研
		うららもち	温暖地向けのもち性小麦品種です。従来的小麦にはない食感(団子状にして茹でた際の際だったもちもち感など)を示します。	三重県桑名市で地域産品として栽培	2005年11月30日	作物研
		ミナミノカオリ	パン適性が向上していて、家庭用パン焼き器でも焼ける暖地向けパン用小麦品種です。中華麺や醤油原料にも使われています。	広島県・福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・長崎県・鹿児島県で生産	2003年12月15日	九州研

分類	品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名	
麦類	小麦	ゆきちから	パン用小麦品種です。パン原料のほか、色相に優れるため中華めん原料としての利用も広がっています。早生で耐寒雪性が強く、東北地域の気候によく適しています。	三重県・山口県・佐賀県・熊本県・大分県で生産	2002年12月3日	東北研
		タマイズミ	タンパク質含量が高く、醤油や中華麺用の小麦品種です。温暖地向けの硬質小麦品種で、白粒で穂発芽にはやや弱いですが、萎縮病にも完全な抵抗性ではありません。	栃木県、岐阜県、三重県で生産	2002年8月1日	作物研
		ふくさやか	軟質、通常アミロースの品種です。小麦粉の色が白くて美しく、菓子・日本めんに適しています。また早生、短稈で栽培しやすいです。	奨励品種として滋賀県と山口県で生産	2002年8月1日	近農研
		ハルイブキ	粉のタンパク含量が高く、他品種とのブレンドでも利用できるパン用小麦品種です。早生、多収で、耐寒雪性、耐病性が強く、倒伏に強い寒冷地向けの品種であり、東北地域での栽培に適しています。	秋田県、埼玉県で生産	2001年8月28日	東北研
		ネバリゴシ	低アミロースのめん用品種です。粘弾性やなめらかさに優れるうどんが作れます。最近では菓子用粉としても利用されています。早生で収量性が高く、東北地域での栽培に適しています。	奨励品種として青森県、岩手県、秋田県で生産	2000年11月30日	東北研
		キタノカオリ	北海道での栽培に適した、製パン適性に優れた秋播硬質小麦です。もちもちとしていて、しっとりとした食感を特徴とするパンが作れます。収量性は「ホクシン」と同程度です。中華麺用としての加工適性もあります。	北海道の優良品種として生産	2000年7月3日	北農研
		ニシノカオリ	暖地向けとしては初のパン用小麦品種です。パン適性はやや劣るため菓子パンに向いています。また、ピザやそうめん、中華麺にも向きます。	三重県・山口県・佐賀県・熊本県・大分県で生産	1998年4月3日	九州研
		イワイノダイチ	秋播型早生で多収のめん用小麦品種です。早播き適性があります。	栃木県・静岡県・岐阜県・愛知県で生産	1997年9月16日	九州研
	大麦	はるしらね	褐変の原因であるプロアントシアニジンを作らないvant 遺伝子を持つ、極低ポリフェノールの六条大麦です。搗精時間が短く、砕粒率が低いなど、精麦品質も総じて優れています。	宮城県で試作	2010年1月8日	作物研
		さやかぜ	押麦用としての精麦品質に優れ、麦茶適性がある大麦品種です。稈性の六条皮麦品種で、オオムギ縮萎病ウイルスⅠ・Ⅱ・Ⅲ型に抵抗性を持っています。中生種で、短強稈で耐倒伏性に優れ、多収です。	奨励品種として群馬県、広島県で生産	2003年12月15日	作物研
		煌二条	麦焼酎の醸造適性に優れた二条大麦品種で、焼酎の酒質にコクと甘みがあり優れています。大粒で整粒歩合が高く多収で、穂発芽に強く、オオムギ縮萎病ウイルスのⅠ～Ⅲ型に抵抗性です。	佐賀県で約200ha栽培	2008年1月22日	九州研
		ニシノホシ	精麦品質が極めて優れ、でんぷん含量が高く焼酎醸造品質も優れた主食用及び焼酎醸造用の二条大麦品種です。短稈で穂数が多く多収で、オオムギ縮萎病ウイルスのⅠ型に抵抗性です。	九州一円・徳島県で生産	1997年10月8日	九州研
	裸麦	ビューファイバー	食物繊維の主成分であるβ-グルカンが従来品種の2～3倍多く含む二条裸麦です。粉に挽いてパン・菓子類・めん類などにブレンドすることにより、様々な食品への高付加価値化が可能です。	愛知県などで栽培中	2010年1月8日	作物研
		トヨノカゼ	粒が軟らかく、搗精時間が短くて済むので、早く搗精麦にできる裸麦品種です。粒が丸みをおびているので削りやすいのが特徴です。麦味噌原料に適しています。	奨励品種として大分県、山口県で生産（計680ha）	2005年11月30日	近農研
マンネンボシ		稈が強く肥料を多く施用しても倒れにくい裸麦品種です。整粒歩合が高く屑麦が少なく、粒揃いが良いです。	奨励品種として愛媛県で生産（1500ha）	2000年11月16日	近農研	
ダイシモチ		もち性の裸麦品種で、収穫時期に穂や麦稈が紫色になるという特徴があります。焼酎や麦ご飯のほか、粉にして菓子類などにも利用されています。	瀬戸内周辺の各地で小規模ずつながら作付けが増え続けている	1996年1月25日	近農研	
大豆	なごみまる	大豆の主要アレルゲンタンパク質の一つであるβ-コングリニンのαおよびα'サブユニットを欠いており、豆乳等のアレルギーリスク軽減のための原料として利用できます。東北中南部～関東北部向けの多収品種です。	栃木県で契約栽培により生産	2006年12月11日	作物研	
	ことゆたか	豆腐加工適性が良好で、倒伏に強い温暖地向け品種です。また、汚粒発生の原因になる青立ちが発生しにくく、褐斑粒発生の原因となるダイズモザイクウイルスのA2系統にも抵抗性を持っているため、高品質の子実を生産するのに有利です。	滋賀県の指定品種として約800ha作付け（2010年）	2006年8月22日	九州研	
	クロダマル	九州での栽培に適した黒大豆品種で、地場産をアピールできます。煮豆に適しているほか、煎り豆や甘納豆等も商品化され、地域振興や農工商連携事業に活用されています。機能性成分のアントシアニン含有率や抗酸化活性が「新丹波黒」よりも高い特徴があります。	大分県（宇佐市等）で約20ha、福岡県（筑前町等）で約12ha、熊本県で約10ha作付け（2010年）	2004年8月11日	九州研	
	すずかおり	寒冷地向けの極小粒品種で、納豆加工適性に優れています。ダイズモザイク病に強く、倒伏しにくいので、栽培しやすいです。栽培適地は東北中南部地域です。	優良品種として山形県で生産	2004年8月11日	東北研	
	ふくいぶき	寒冷地向けの高イソフラボン品種です。子実中のイソフラボン含量が高いことから、高イソフラボン大豆加工品の製造が可能です。耐病虫性が強く、多収で、栽培適地は東北南部および北陸地域です。	奨励品種として福島県で生産	2002年8月1日	東北研	
	青丸くん	子実全体が緑色の、東北地域向け大豆品種です。他の青豆品種よりも緑色の濃い大豆加工品（豆腐、豆乳、きな粉等）に適しています。早熟で、耐倒伏性が強く、また、裂莢しにくいので機械化栽培も容易です。	奨励品種として岩手県で生産	2002年8月1日	東北研	
	サチユタカ	中国地方、近畿地方などの温暖地向けに育成された豆腐用品種で、子実は白目大粒で蛋白質含有率が高く、耐倒伏性にも優れた多収品種です。	中国、四国、近畿地域を中心に4060ha作付け（2009年）	2000年11月15日	九州研	

分類	品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名	
大豆	すずおとめ	九州向けに初めて育成された納豆用品種です。子実は白目小粒で裂皮の発生が少ないため、納豆加工に適しています。地場産をアピールできる品種です。	福岡、三重、熊本、大分、佐賀県等で作付け（2010年）	1998年4月27日	九州研	
	エルスター	青臭みの原因となる酵素（リポキシゲナーゼ）を完全に欠失した大豆品種です。風味の良い豆乳が作れるほか、粉末を利用することで、ケーキや飲料、ヘルシーな料理などさまざまな新用途が期待されています。西日本向けの品種です。	大分県	1997年4月24日	九州研	
	キヨミドリ	子実の種皮および子葉が緑色の品種です。子実はショ糖含量が「フクユタカ」等に比べて高く、また、香り米と同じ芳香を持っています。豆腐に加工すると「フクユタカ」に比べ柔らかいものの、その色調や風味が優れています。	宮崎、福岡、熊本、大分、岡山県等で作付け（2010年）	1997年4月24日	九州研	
いも類	ジャガイモ	ピルカ	ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、目が浅く調理がしやすい品種です。煮崩れが少なく、調理後の黒変も少ないため、水煮調理に適します。	北海道を中心に生産	2009年9月7日	北農研
		インカのひとみ	カロテノイド系色素を含み、赤皮で目の周りが黄色い、橙黄肉の良食味品種です。ナッツフレーバーの風味と低温貯蔵で甘くなる「インカのめざめ」同様の特徴を持ちます。「インカのめざめ」より収量性が優れています。	北海道を中心に生産	2006年8月22日	北農研
		らんらんチップ	ポテトチップ用品種としては圧倒的な栽培面積のある「トヨシロ」並の熟期でジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ品種です。ポテトチップとした時に食味に優れ、「トヨシロ」と比べてチップカラーが良いです。	北海道を中心に生産	2005年8月11日	北農研
		スタールビー	赤皮黄肉の良食味品種です。水煮黒変が少なく、バターを使った料理やフライにも向いています。やや粉質で煮崩れは「男爵薯」並です。ジャガイモシストセンチュウ抵抗性があります。	北海道を中心に生産	2003年8月11日	北農研
		キタムラサキ	アントシアニン色素を含む紫皮紫肉の品種です。やや粘質で煮崩れしにくいですが、サラダやフレーク原料として優れています。ジャガイモシストセンチュウ抵抗性があります。	北海道を中心に生産	2003年8月11日	北農研
		インカのめざめ	カロテノイド系色素を含み、ナッツフレーバーという独特の風味と低温貯蔵で甘くなる特徴を持つ橙黄肉の良食味品種です。	北海道を中心に全国で生産	1997年4月11日	北農研
	サツマイモ	サツمامサリ	「コガネセンガン」の欠点であるいもの形状、貯蔵性や線虫抵抗性などを改良した焼耐用の品種です。その焼耐は甘くフルーティな香りとすっきりした味が特徴です。	鹿児島県	2010年4月12日	九州研
		タマアカネ	既存品種の中で最もβ-カロテン含量が高い多収の醸造用・加工用品種です。ワイン風の醸造酒や焼酎原料に適します。直播栽培適性が高い品種です。	宮崎県都城市、宮崎県高鍋町	2009年5月14日	九州研
		ときまさり	焼耐用の品種で、華やかな香りと軽快な甘み、コクのある焼酎ができます。コガネセンガンより原料当たりのアルコール収得率が高く、また、イモに凹凸が少ないためトリミング等の手間が省けます。	鹿児島県志布志市、宮崎県北郷町（焼酎）	2007年9月18日	九州研
		九州137号	蒸切干用の紫サツマイモ品種で、蒸切干の色、テクスチャーや味の評価が高いです。いもの形や蒸しいもの味も良く、食用としても利用できます。	茨城県水戸市	2005年8月3日	九州研
		アケムラサキ	紫サツマイモの中で最もアントシアニン色素が多い品種です。色素原料のほか高色素含量を活かした加工食品への利用が期待されています。線虫にも強い品種です。	宮崎県都城市	2005年8月1日	九州研
		オキコガネ	β-アマラーゼ活性がないため、加熱しても甘くならない品種です。この性質を活かしてコロッケやフレンチフライなどパレイショのような料理に利用できます。多収で作りやすい品種です。	宮崎県宮崎市	2004年8月11日	九州研
		ハマコマチ	肉色が鮮やかなオレンジ色の蒸切干用品種です。β-カロテン含量はカロテン品種の中では最も高いです。焼きいもや蒸しいもには向きませんが、蒸切干（干しいも）用として適しています。	静岡県御前崎市	2003年8月11日	九州研
		ダイチノユメ	高でん粉・多収で、貯蔵性や線虫抵抗性に優れたでん粉原料用品種です。焼酎原料にも適し、フルーティな香りが特徴です。	鹿児島県のでん粉用奨励品種、宮崎県（焼酎用）、熊本県八代市（焼酎用）	2003年8月11日	九州研
		アヤコマチ	蒸しいもの肉色は鮮やかなオレンジ色でβ-カロテンを含む品種です。肉質は粘質で甘みもあり、カロテン品種の中では最も食味が良いです。カラフルさとβ-カロテンの機能性を活かした加工品（サラダなど）や焼き芋に向きます。	千葉県香取郡	2003年8月11日	九州研
		クイックスイート	短時間の調理でも甘くなる青果・加工用サツマイモ品種です。通常の品種より20℃程度低い温度で糊化するでん粉を含んでいますので、加熱調理中のでん粉の糊化・糖化が早く進み、電子レンジ調理でも食味が良いです。	生食用として千葉県、茨城県等で生産、でんぶん利用で鹿児島県、宮崎県等で栽培	2002年8月1日	作物研
		べにまさり	甘くて肉質が柔らかくおいしい食用品種です。しっとりとした食感が好評です。「高系14号」よりイモ揃いが良く、早掘栽培にも適しています。	茨城県行方市	2001年11月15日	九州研
		パープルスイートロード	機能性成分であるアントシアニン色素を含む青果・加工用紫サツマイモ品種です。紫サツマイモとしては良食味で、収量性、いもの外観・揃いの特性も優れています。	埼玉県、茨城県で生産	2001年8月10日	作物研
ムラサキマサリ	いもの形が優れ、多収で栽培しやすい紫色のサツマイモ品種です。ペーストは「アヤムラサキ」よりやや赤みが強く美しい。いも館や焼酎用として利用でき、赤ワイン風の独特な焼酎の香りが高く評価されています。	宮崎県都城市	2001年8月10日	九州研		
タマオトメ	多収で作りやすい食用加工用品種です。蒸しいもの肉色は鮮やかな黄色で黒変が少なく、肉質はやや粘質で、甘みが強く食味は良好です。食用のほか、蒸切干やペースト加工用にも適します。	茨城県内	2001年8月1日	九州研		

分類		品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名
いも類	サツマイモ	コナホマレ	でん粉用品種です。でん粉歩留まりが高く、多収です。焼酎原料としても使用できます。	鹿児島県のでん粉用奨励品種、宮崎県（焼酎用）	2000年6月29日	九州研
	雑穀	ゴマ	ごまぞう	健康機能性が期待されるゴマリグナン（セサミン、セサモリン）を国産在来品種より約2倍多く含んだ高リグナン品種の第1号です。粒はバリエーションのある茶（褐）色となり、特徴的です。	茨城県で複数農家5ha程度、長崎県で複数農家20ha程度	2002年8月1日
アマランサス		ニューアステカ	既存品種（メキシコ系）より草丈が50cm程低いため機械収穫がしやすく、また、10日程早生なことから台風シーズン前の収穫も可能な栽培しやすい品種です。	岩手県で数ha、日本各地で小面積栽培	2000年9月25日	作物研
ソバ		レノカオリ	「キタワセソバ」と比べ早熟、大粒で多収です。歯ごたえが良い等、「キタワセソバ」とは異なる良食味であるため、地域特産品に向いています。	2012年度から一般栽培の予定	2009年5月1日	北農研
		さちいずみ	九州では鹿屋在来より早く収穫できる良食味の秋まき栽培用中生そば品種です。沖縄県では冬まきや春まき栽培に適しています。	大分県豊後高田市、鹿児島県始良市、大崎町、沖縄県大宜味村	2008年6月12日	九州研
		なつみ	夏から初秋に新そばとして提供できる食味の良い夏そばです。「しなの夏そば」に比べ、草丈が高く、子実重、千粒重はやや少ないが容積重は重く、ルチン含量が多くなっています。	熊本県、新潟県で栽培	2007年8月29日	中央研
		とよむすめ	従来品種の「信濃1号」よりもルチン（ポリフェノール的一种）が40%多く含まれています。食味は「常陸秋そば」と同程度に良好です。草丈は長いが倒伏に強く、多収で、東北南部から中国地方の秋そばに適します。	広島県、新潟県、北陸地方で栽培	2003年8月11日	中央研
キタノマシュウ		北海道の約9割を占める主力品種「キタワセソバ」とは食味が異なるため、地域特産化や商品開発において差別化が図れます。草丈が既存の品種よりやや低く、耐倒伏性に優れています。	北海道の優良品種として生産	2001年8月28日	北農研	
ダツタンソバ		北海T9号	胚軸が太く見栄えの良いスプラウトができます。ルチン含量は標準品種の1.3倍です。穀実用だったんそば品種に比べ採種性が悪いいためスプラウトや凍結乾燥粉末など付加価値の高い用途に向いています。		2007年10月30日	北農研
		北海T10号	アントシアニンを含むため赤色のスプラウトができます。ルチン含量は標準品種の1.7倍です。穀実用だったんそば品種に比べ採種性が極めて悪いいためスプラウトや凍結乾燥粉末など付加価値の高い用途に向いています。		2007年10月30日	北農研
		北陸4号	東北から中国地方での栽培に適した本州向けダツタンソバ品種です。自殖性でルチンが普通そばの約100倍含まれています。この特性を活かした機能性食材の開発が可能ですので、地域興しへの利用が期待されます。	石川県、新潟県で栽培	2005年8月30日	中央研
	北海T8号	通常のそば品種に比べ数十倍～100倍ほどのルチンが含まれています。そば茶、麺への加工適性に優れています。	北海道の優良品種として生産	2001年12月5日	北農研	
ハトムギ	はときらら	極早生、極短稈で北海道南部、東北地方などでの栽培に適しています。収量は標準品種「はとじろう」並～やや多いです。草丈が短いため栽培管理や機械収穫が容易です。	岐阜県飛騨市で生産	2011年5月12日	東北研	
	あきしずく	多収で葉枯病に強い中生のはとむぎ品種です。栽培適地は関東地域以西です。茶と精白粒の原料に適しています。	栃木県、富山県、石川県、三重県、広島県、鳥取県、島根県、福岡県で栽培	2007年5月28日	九州研	
工芸作物	テンサイ	アマホマレ	アマホマレは高い根中糖分を有しながらも、根重も多い高糖分型の多収品種です。さらに、褐斑病抵抗性および黒根病抵抗性が“中”であり、既存の高糖分型品種と比べて安定生産が期待できます。		2011年6月21日	北農研
		北海90号	世界で初めての黒根病抵抗性品種です。黒根病の発生が懸念される排水不良畑等への作付けすることで難防除病害である黒根病の発生を抑え、安定した生産が可能となります。	唯一の黒根病抵抗性“強”品種として、抵抗性検定の標準品種として利用	2007年1月22日	北農研
	サトウキビ	Ni27	NiF8を親とする品種で、NiF8よりも太茎で茎数は同等で多収となります。屈曲少なく脱葉性に優れ、特に手刈り収穫に向きます。台風による風折には注意が必要です。	宮古島で栽培面積が拡大中	2009年5月14日	九州研
		NiN24	他の品種に比べて早い時期から糖度が上昇します。夏植えでは11月には収穫可能な糖度に達し、年内に収穫する場合には他の品種よりも糖度が高く、高い取引単価を期待できます。太茎でやや短いため手刈りに向きます。	沖縄本島南部地域で栽培	2007年9月18日	九州研
		Ni22	発芽、萌芽、茎伸長に優れ、特に株出し栽培で多収となる茎数型品種です。早期高糖で適切な栽培を行えば12月収穫も可能です。	鹿児島県内および石垣島で栽培	2006年8月22日	九州研
		Ni23	発芽、萌芽、茎伸長に優れ、春植え、夏植え、株出しともに多収となる品種で、特に耐干性に優れており、干ばつ発生年には他品種よりも多収となります。鹿児島県奄美地域に向けて開発されています。	与論島などの奄美地域で栽培	2006年8月22日	九州研
		NiTn20	沖縄本島南部、八重山地域向けに開発された黒糖病に強く収穫適期幅が広い安定多収のサトウキビ品種です。早期高糖で12月の品質良く、冬季にも安定した株出しが可能となります。	沖縄本島南部地域で栽培	2005年8月11日	九州研
		NiTn18	鹿児島県熊毛地域向けに開発された初期生育に優れた茎数型の多収品種です。低温下での萌芽も旺盛で株出栽培でも安定した収量が得られます。	種子島で栽培	2004年8月11日	九州研
		NiTn19	沖縄本島北部、八重山地域向けに開発された分げつが旺盛で、春植え、株出し、夏植え栽培で安定して多収となる黒糖病に極めて強い茎数型の品種です。	沖縄本島、八重山地域で栽培	2004年8月11日	九州研

分類		品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名		
工芸作物	サトウキビ	Ni16	沖縄本島北部向けの茎重型の品種で、茎の伸長が旺盛でやせ地でも比較的に多収となります。	沖縄本島北部地域で栽培	2003年8月11日	九州研		
	ナタネ	ななしきぶ	無エルシン酸、多収性の、食用油脂用のナタネ品種です。関東以西の温暖地、東北南部の少雪地での栽培に適しています。	主に滋賀県内で生産	2002年12月3日	東北研		
		菜々みどり	野菜（なばな）として利用できるナタネ品種です。油脂の特性は無エルシン酸ですが、含油量が低く、採油には向きません。東北北部地域での栽培に適しています。	青森県で生産	2000年12月11日	東北研		
		キザキノナタネ	無エルシン酸の食用油脂用ナタネ品種です。耐寒雪性が強く、多収で、東北北部地域、北海道での栽培に適しています。	青森県、北海道を中心に各地で生産	権利満了	東北研		
茶	サンルージュ	炭疽病、輪斑病に抵抗性を有し、高アントシアニン系統の「茶中間母本農6号」よりも新芽中のアントシアニン含量が高く、栽培特性に優れています。	徳之島で試験栽培開始。2013年までに10haに拡大予定。		2009年6月3日	野茶研		
	しゅんたろう	極早生品種の「くりたわせ」より摘採期が2日ほど早い極早生系統で、生育・製茶品質・収量は「くりたわせ」より優れ、炭疽病と輪斑病に抵抗性を有します。	種子島で生産開始(10a)		2009年4月23日	野茶研		
	茶中間母本農4号	クワシロカイガラムシ抵抗性であり、交雑後代の抵抗性個体はDNAマーカーで選抜可能です。また炭疽病・輪紋病抵抗性の素材です。	育種素材として利用中		2004年8月11日	野茶研		
	茶中間母本農5号	クワシロカイガラムシ抵抗性であり、交雑後代の抵抗性個体はDNAマーカーで選抜可能です。また炭疽病・輪紋病抵抗性の素材であり、製茶品質は優良です。	育種素材として利用中		2004年8月11日	野茶研		
	茶中間母本農6号	チャ近縁種タリエンシスとチャの種間雑種です。新芽にアントシアニンが多く含まれています。	サンルージュの親として利用された。		2004年8月11日	野茶研		
	はるみどり	アミノ酸含量が高い晩生品種です。摘採期中晩生品種の「かなやみどり」と極晩生品種「おくみどり」の中間で、摘採期の分散化に貢献できます。耐寒性が強く、中山間地や涼涼地の栽培に適しています。	静岡県、福岡県、鹿児島県、京都府などで生産開始。鹿児島県では奨励品種に。		2000年6月29日	野茶研		
	りょうふう	爽快な香味で色沢・形状に優れた晩生品種です。樹勢が強く新芽の伸びが良好です。樹姿はやや直立性ですが、成園化は早いです。出開きにくいので、摘採時期の判断を誤らないように注意する必要があります。	栽培面積は約2ha、静岡県、愛知県に普及		1997年5月19日	野茶研		
	べにふうき	紅茶、半発酵茶として良好な香気を有する中生品種です。緑茶とした場合、メチル化カテキン含量が高く、花粉症などのアレルギー抑制作用が期待できます。緑茶とする場合は、葉を十分に成熟させて摘採する必要があります。	栽培面積は約100ha以上。鹿児島県を中心に全国的に生産されている。紅茶、緑茶、ドリンク原料として流通		1993年3月24日	野茶研		
	ふうしゅん	耐寒性が強く、生育も旺盛な多収のやや晩生の品種です。生育が遅く収量も少ない寒冷地において特に優位性を発揮できます。	栽培面積は約30a、静岡県、大分県、宮崎県、滋賀県などで普及		1991年4月1日	野茶研		
さえみどり	うま味が強く、渋みが少ない高品質の早生品種です。玉露としても高い評価を得ています。樹姿は中間型で仕立てやすく、輪斑病には強く、炭疽病には「やぶきた」よりも強いです。幼木期の生育はやや緩慢です。	栽培面積は約1000ha、鹿児島県、福岡県を中心に、全国的に普及。高品質、高単価が市場で定着しつつある。		権利満了	野茶研			
果樹	アンズ	サニーコット	生で食べることでできるアンズです。果実の大きさが110~120gと大玉で、糖度が高く、適度な酸味があります。裂果がほとんど無く、自家結実性で豊産性です。	長野県、埼玉県、福井県、群馬県で導入が検討されている。	2009年7月15日	果樹研		
		ニコニコット	生で食べることでできるアンズです。果実の大きさは90g程度ですが、糖度が高く、酸味が少なく食味が優れます。自家結実性で極めて豊産性です。	長野県、埼玉県、福井県、群馬県で導入が検討されている。	2009年7月15日	果樹研		
	ウメ	翠香(すいこう)	「南高」と同時期かやや早く収穫される中晩生品種です。果実は35g程度、香りの良いウメです。完熟果を使用した場合は、酸味が強く強い上質の梅酒や梅ジュースになります。	2010年秋から苗木販売が開始された。		2009年7月15日	果樹研	
		カキ	太天(たいてん)	大果で食味の良い晩生の不完全渋ガキで、果実重は500g程度になります。CTSD炭酸ガス脱渋法で脱渋します。脱渋後でも「太秋」のようなさくさくとした食感があります。樹勢は強く収量性に優れます。	愛媛県などで栽培が進んでいるが、品種登録から間もないため果実の生産・流通量は未だ少ない。		2007年9月11日	果樹研
			太月(たいげつ)	「平核無」と同時期またはやや遅い時期に成熟する中生の渋ガキ品種です。果実重は450g前後で「平核無」の約1.7倍です。糖度は14.6%程度で肉質はやや粗いが軟らかく、多汁です。	山梨県の渋ガキ生産地域で一部導入が進められている。		2007年9月11日	果樹研
			貴秋(きしゅう)	平均350g程度の大果で早生の完全甘ガキです。裂果(へたすき果)はほとんど発生しません。やや硬く、緻密と粗の中間の肉質で、果汁は多く、糖度は中程度です。	岐阜県などで栽培されているが、果実の生産・流通量は未だ少ない		2003年8月11日	果樹研
			甘秋(かんしゅう)	早生で糖度の高い完全甘ガキで、果実重は230g程度です。裂果は発生しません。肉質は緻密で、果汁の量は中程度です。果皮が黒くなりやすい特徴があります。結実は容易です。	和歌山県などで栽培されているが、果実の生産・流通量は未だ少ない		2002年8月1日	果樹研
	太秋(たいしゅう)	大果(400g程度)で中生の完全甘ガキです。軟らかく、さくさくとした肉質で、果汁が多く、食味が優れています。果皮に条紋という黒い筋が出やすく、その部位の糖度が高い特徴があります。	2008年産では、熊本県、福岡県、愛媛県、岡山県を中心に230ha栽培されている。		1994年3月31日	果樹研		
	カンキツ	津之望(つのぞみ)	露地栽培で、12月中下旬に成熟期を迎える早生品種で、隔年結果性が低く、連年安定生産が容易です。果実は190g程度、皮が剥けやすく、芳香があって食味の良いのが特徴です。浮皮も発生しにくく、今後の普及が期待されます。	2011年秋から苗木販売が開始された。		2010年7月12日	果樹研	

分類	品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名	
果樹	カンキツ	オーラスター	3月上中旬に成熟するブタンタイプのカンキツで大きさは約400gです。酸味が強く、苦みがあり、生食には向きませんが、機能性成分のオーラペンを高含有し、加工原料として期待されます。	2011年秋から苗木販売が開始された	2010年7月12日	果樹研
		はるひ	露地で2月頃に成熟期を迎える中生品種です。果実は150g程度で、果皮は橙黄色で剥きやすく、「日向夏」に似たさっぱりとした爽快感のある香りが特徴的です。	2011年秋から苗木販売が開始された。	2009年10月13日	果樹研
		津之輝 (つのかがやき)	果実は180g程度、果皮は赤みがあります。糖度は約13%と高く、食味濃厚な品種です。熟期は1月中旬から2月上旬で、β-クリプトキサンチンを高濃度で含有します。また無加温および少加温施設栽培で高品質な果実の年内出荷が可能です。	現在のところほとんど産地化されていないが、愛媛県や佐賀県などで栽培が認められる。	2007年9月11日	果樹研
		べにばえ	果実重は150g程度、果皮色は赤橙色、熟期は12月下旬です。平均糖度は約13%で減酸も早く食味濃厚、浮皮の発生はありません。β-クリプトキサンチン含量はウンシュウミカンの2倍程度です。	現在のところほとんど産地化はされていないが、愛媛県や長崎県で栽培が認められる。	2005年8月11日	果樹研
		たまみ	1月中旬頃に成熟するβ-クリプトキサンチンを多く含むミカンです。甘味が強く、オレンジ様の香りがします。剥皮が容易で、じょうのう膜が薄く、食べやすいです。	愛媛県瀬戸内海沿岸部で導入されています。2008年の栽培面積は5haである。	2004年8月11日	果樹研
		麗紅 (れいこう)	果実は210g程度、果皮は赤橙色で退色しにくいです。平均糖度は12%、肉質は柔らかく、多汁性、食味良好で熟期は1月中下旬です。β-クリプトキサンチン含量が高いです。	2008年には、栽培面積11ha、約96トンの生産がある。長崎県、佐賀県、福岡県を中心に栽培が増加している。	2003年8月11日	果樹研
		はれひめ	果実は180g程度のオレンジ様の風味のあるミカンです。剥皮性が良く、じょうのう膜が薄く、種子が少なく食べ易い品種です。成熟期が12月上旬で早熟性であり、年内販売が可能です。	2008年には、栽培面積119ha、約1184トンの生産がある。愛媛県、広島県、徳島県、愛知県を中心として、導入が進んでいる。	2001年8月10日	果樹研
		せとか	果実は250g程度、果皮は橙色、果面は滑らかで美麗です。果皮・じょうのう膜ともに薄く、剥皮は容易で芳香があります。熟期は2月で糖度は12～13%、食味は極めて良好で市場評価も非常に高いです。	2008年には、栽培面積231ha、約3452トンの生産がある。愛媛県、佐賀県、長崎県を中心に増加している。施設中心であるが露地栽培も増えつつある。	1998年4月9日	果樹研
キンカン	ぶちまる	「ナガミキンカン」に「4倍体ニボウキンカン」を交雑して育成した三倍体のキンカンです。種子がほとんど無く、食べやすいです。成熟期は1月で、果皮の甘味が強く食味良好です。	鹿児島県、沖縄県の一部で栽培されている。	1999年6月10日	果樹研	
クリ	美玖里	「筑波」と「石鎚」の間に収穫される品種です。果実重は平均28gと「筑波」程度で、肉質は粉質、甘味・香気ともに強く食味が優れています。果肉の黄色味が強いので生食だけでなく加工用としても期待されます。	2010年秋から苗木販売が開始された。	2009年7月15日	果樹研	
	秋峰 (しゅうほう)	関東で9月下旬～10月上旬に収穫される中晩生品種です。果実重は23g程度で、肉質は粉質で甘味・香気ともに強く食味が優れています。果肉色が良いので生食だけでなく加工用としても利用できます。	現在のところほとんど産地化されていない	2001年8月10日	果樹研	
ナシ	あきあかり	関東で8月下旬に収穫される早生の赤ナシで、果実表面の条溝が明瞭に現れる点が特徴です。果実重は400g程度です。甘味が多く食味が優れた上、日持ち性にも優れています。	現在のところほとんど産地化されていないが、栃木県や茨城県などで栽培が認められる。	2000年8月8日	果樹研	
	秋麗 (しゅうれい)	関東で9月上旬に収穫される中生の青ナシ品種で、果実重は350g程度です。果実表面のさびの発生が多く外観が悪いものの、甘味が多く肉質も緻密で柔らかく、好ましい香気を持ち、果実品質に優れています。	熊本県で栽培が始まり2008年の栽培面積は3haである。	2000年8月8日	果樹研	
	王秋 (おうしゅう)	関東で10月下旬に収穫される極晩生の赤ナシ品種です。果実重は650g程度、豊産性で食味が優れ、非常に優れた日持ち性を有します。収穫前落果が発生するため、落果防止剤の散布が必要です。	鳥取県大山町名和で産地化されている。2008年における鳥取県の栽培面積は9haである。	2000年8月8日	果樹研	
	あきづき	関東で9月下旬に収穫されるやや晩生の赤ナシで、果実重は500g程度です。果実の揃いが良く、秀品果率が高い。甘味が多く酸味が少ないため食味が優れます。「豊水」、「新高」に替わる品種として普及が進んでいます。	2008年には福島県、茨城県、千葉県、熊本県、栃木県を中心に244ha栽培されている。	1998年4月9日	果樹研	
西洋ナシ	ジェイド スイート	大果（果実重290g程度）で外観と食味（Brix糖度13～14%で多汁）が優れた早生（札幌で9月中旬収穫）の西洋ナシ品種です。北海道、岩手県、長野県で有望以上の評価を受けています。果皮がやや弱く傷つきやすいので、ていねいな取り扱いが必要です。	苗木の販売は検討・調整中です。	2011年3月10日	北農研	
ブドウ	サンヴェルデ	「巨峰」と同時期に収穫でき、果粒の大きさは14g程度、果皮は黄緑色です。果皮がむきやすく、「巨峰」、「ピオーネ」より噛み切りやすく硬い肉質で、食味が優れています。ジベレリン処理により種なし栽培ができます。	2011年秋から苗木販売が開始された。	2010年7月12日	果樹研	
	クイーン ニーナ	「巨峰」より遅い時期に成熟する赤色ブドウです。「巨峰」より大粒で、噛み切りやすく硬い肉質を持ち、甘味高く、酸味が少ないため食味が優れます。香りは良いフォクシー香があります。種なし生産でき、短梢栽培も可能です。	2010年秋から苗木販売が開始され、各地で導入が進められている。	2009年7月15日	果樹研	
	オリエンタル スター	「巨峰」より遅い時期に成熟する紫赤色の大粒ブドウです。噛み切りやすく硬い肉質で、糖度が高く、酸味が少ない特徴があります。貯蔵性は優れています。耐病性はやや弱いですが、種なし生産でき、栽培が容易です。	山梨県などで栽培されているが、果実の生産・流通量は未だ少ない。	2004年8月11日	果樹研	
	ハニー ビーナス	「巨峰」より糖度が2度高い、黄緑色の大粒ブドウです。「巨峰」より果粒がやや小さく、「巨峰」より硬い肉質を持ち、特有の芳香を呈します。成熟期は「巨峰」に近い時期で、「巨峰」より結実しやすいブドウです。	鳥取県、宮崎県などで栽培され、2008年の栽培面積は7haである。	1998年4月9日	果樹研	
ブルー ベリー	エピルカ ブルー	果実重2.2g程度の大果で、北海道（札幌）での圃場耐寒性が中の、中生（札幌で8月中下旬収穫）ブルーベリー品種です。	北海道内で現地試験中。苗木の販売は未定。	2010年3月31日	北農研	
	ケラアン ブルー	果実重2.0g程度の大果で、北海道（札幌）での圃場耐寒性がやや強の、早生（札幌で8月上中旬収穫）ブルーベリー品種です。	北海道内で現地試験中。苗木の販売は未定。	2010年3月31日	北農研	

分類	品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名	
果樹	モモ	つきかがみ	「黄金桃」より1週間程度遅く収穫される晩生品種です。果実は350g程度と大果で、糖度も高く食味が優れています。また、裂果や果面の荒れが少なく外観が優れ、無袋栽培が可能です。	2011年秋から苗木販売が開始された。	2010年7月12日	果樹研
		ひめこなつ	開花後2か月余りで収穫できる極早生の黄色いモモです。果実の大きさは120gと小さいですが、糖度は12%程度になり、極早生品種としては食味が良好です。	広島県、静岡県、神奈川県などで導入が検討されている。	2007年9月11日	果樹研
		白秋 (はくしゅう)	果実は円形、大きさは300~400gとなり、果肉は白色です。果汁が多く、糖度は11~13%程度、酸味はなく、食味は比較的良好です。有袋栽培により外観が美しい無着色の果実が収穫できます。	岡山県の一部で栽培されている。	2001年8月10日	果樹研
		なつおとめ	果実重は300g前後と大きく、果皮の色は白色で着色は多く、外観良好です。裂果の発生は無く、無袋栽培が可能で、肉質は密で糖度は13%程度と高いです。花粉を持ち、自家結実性で生理落果は少なく、豊産性です。	香川県、新潟県などで栽培されており、2008年の栽培面積は17haである。	1999年6月10日	果樹研
		もちづき	無袋栽培でも果皮及び果肉が赤く着色しない缶詰加工用の白肉品種です。果肉は半不溶質です。「あかつき」より10日程度後に収穫され、果実重は200g程度です。	山形県、福島県などで栽培され、2008年の栽培面積は21.5haである。	1997年4月11日	果樹研
	リンゴ	さんたろう	果実の大きさは350g前後と大果で濃赤色に着色する三倍体品種です。多汁で歯ざわり良く、酸味が強く、加工にも向きます。果実の成熟期は育成地(盛岡)で9月下旬~10月上旬で、豊産性です。	岩手県の一部産地で栽培されているが、果実の生産・流通量は未だ少ない。	2000年8月8日	果樹研
		ちなつ	育成地(盛岡)で8月中旬に成熟する極早生品種です。果実の大きさは200~250gでやや小さく、果皮は赤色で縞が入ります。着色の程度はやや少なく、果肉は歯ざわり良く、極早生品種としては食味が優れています。	岩手県の一部産地で栽培されているが、果実の生産・流通量は未だ少ない。	1998年4月9日	果樹研
		こうたろう	果実の大きさは250g前後でやや小さいですが、果面全体が濃赤色に着色します。肉質は中位、甘酸適和で芳香を有し、食味は良好です。育成地(盛岡)で10月下旬に成熟し、温暖な産地でも着色が良く、豊産性です。	青森県、岩手県、富山県、石川県などで栽培されているが、果実の生産・流通量は未だ少ない。	1998年4月9日	果樹研
	花・鑑賞作物	稲	祝い茜	米の収穫目的ではなく、色が付いた葉や穂を鑑賞して楽しむための観賞用イネです。穂が赤色で芒が長く、切り花、ドライフラワー、フラワーアレンジメントなどに向いています。	東北地域を中心に各地で生産	2008年8月25日
祝い紫			米の収穫目的ではなく、色が付いた葉や穂を鑑賞して楽しむための観賞用イネです。穂が紫色で芒が長く、切り花、ドライフラワー、フラワーアレンジメントなどに向いています。	東北地域を中心に各地で生産	2008年8月25日	東北研
奥羽観383号			米の収穫目的ではなく、色が付いた葉や穂を鑑賞して楽しむための観賞用イネです。葉に白の縦縞があり、穂が紫色で、切り花、ドライフラワー、フラワーアレンジメントなどに向いています。	東北地域を中心に各地で生産	2005年8月30日	東北研
西海観246号			ピンク色の稲穂が色鮮やかな観賞用品種です。景観用やドライフラワーに利用できます。	北陸地方~九州地方で小規模ながら景観用、ドライフラワー用に生産	2002年12月16日	九州研
カンキツ		ミニマートル1号	樹体は小さく、わい性で、鉢物や庭木として利用できる観賞用品種です。葉、花、果実も極めて小さいです。果実は1年以上樹に着けておくことが可能であるため、花と果実を同時に楽しむことができます。		2005年8月30日	果樹研
キク		つくば1号	イソギクとスプレーギクとの種間雑種で、純白緑芯で花形が整い、茎の伸長性に優れたフラワーアレンジメントにも利用可能な新しいタイプの小輪ギクです。		2005年9月30日	花き研
サツマイモ		九育観2	観賞用品種です。茎葉部は濃い紫色で、葉が紅葉型です。	サントリーフラワーズ(株)から販売	2007年1月23日	九州研
		九育観1号	観賞用品種です。茎葉部は濃い紫色で、葉がハート型です。花壇やプランターでの栽培に向いています。	サントリーフラワーズ(株)から販売	2004年4月1日	九州研
ツバキ		姫の香	絞りの花色(白地にピンク斑入り)で、芳香性のヒメサザンカとツバキの雑種です。	福岡県で生産	2003年8月11日	花き研
		彩祭り	立性でやわらかな樹姿を持ち、小輪多花で、花色がピンクの早春咲きのツバキ属種間雑種(ローゼフローラ×シラハツツバキ)です。	三重県で生産	2002年8月1日	花き研
		雪祭り	立性でやわらかな樹姿を持ち、小輪多花で、花色が白色の早春咲きのツバキ属種間雑種(ローゼフローラ×シラハツツバキ)です。		2002年8月1日	花き研
ツバキ×チャ		春待姫	極小輪で、絞りの花色(白地にピンク斑入り)で、秋~春咲き性のチャとツバキの雑種です。	福岡県、三重県で生産	2002年8月1日	花き研
バラ		花き研低性1号	低樹高のハマナスで花色が赤紫色の一重咲きです。		2003年5月19日	花き研
		花き研低性2号	低樹高のハマナスで、花色が桃色の八重咲きです。		2003年5月19日	花き研
モモ	ひなのたき	枝垂れ性の花モモです。花は桃色、八重咲きで、開花期間が長いため長期にわたり観賞することができます。また、果実は160g程度とやや小さいですが食用として楽しむことができます。		2008年8月14日	果樹研	

分類	品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名	
野菜	イチゴ	桃薫	モモに似た芳醇な香りが特徴でこれまでのイチゴとは異なる風味が楽しめる。果実に艶があり外観が優れ、果形が揃い、収量性にも優れます。淡い色と新しい風味で普通のイチゴとの区別が容易なため、新たな需要の発掘が期待できます。	茨城、静岡県、長野県、長崎県、熊本県で生産 北海道、福島、栃木、神奈川県、新潟、三重、岐阜の各県で試作 静岡県、岡山県、福岡県等の観光農園にて栽培 民間種苗会社から家庭園芸用に販売	2009年11月11日	野茶研
		こいのか	早生で連続出蓄性に優れ、年内収量が多く、果実は糖度が高く、食味の良い促成栽培用のイチゴ品種です。	長崎県と大分県の促成栽培産地で生産	2008年8月27日	九州研
		おおきみ	極大果で日持ち性と食味に優れ、摘果作業が不要で、萎黄病、炭疽病およびうどんこ病に対して抵抗性を持つ促成栽培用のイチゴ品種です。	佐賀県唐津市で生産 熊本県、福岡県などで試作	2008年8月18日	九州研
		カレンベリー	炭疽病、うどんこ病、萎黄病および疫病に対して抵抗性を持ち、果実の揃いがよく、やや晩生で半促成栽培および露地栽培用のイチゴ品種です。	民間種苗会社から販売	2008年5月15日	九州研
		デコルージュ	夏から秋に生産できる、寒冷地および高冷地向けの四季成り性イチゴ品種です。果実はつやがあって内部の着色が良く、また硬くて日持ち性が優れるので、ケーキに向いています。	東北各県で少量ずつ生産	2004年8月11日	東北研
		いちご中間母本農2号	炭そ病抵抗性の交配親として高い能力を持っています。	公立試験研究機関等で交配親として利用	2002年8月1日	九州研
		久留米IH1号	桃の香りがする生食・観賞兼用のイチゴ品種です。	民間種苗会社等から「ふ～みん」、「モモ香」、「ピーチベリー」などの名前で販売	2002年4月4日	九州研
		久留米IH4号	鮮やかなピンク色の花を咲かせ、果実もおいしい、生食・観賞兼用のイチゴ品種です。	民間種苗会社などから「ピンクスイート」、「パチオスイート」などの名前で販売	2002年4月4日	九州研
		いちご中間母本農1号	果実の平均重量が30g程度の極大果性で、早生で休眠が浅く、厳冬期の生育や食味が安定し、収量性も高く、促成栽培用極大果イチゴ実用品種育成の交配親として利用できます。	「ひのしずく」、「おおきみ」等の交配親として利用	2000年6月29日	野茶研
		北の輝	多収、大果で日持ち性に優れ、食味が良く、うどんこ病に強く、萎黄病にも比較的強いイチゴ品種です。寒冷地ならびに温暖地の露地栽培および寒冷地の半促成栽培に適しています。	東北の半促成（低温カット）栽培および露地栽培で生産。促成栽培の収穫が終わる5月以降7月頃までの生産が中心で、主にケーキに利用。	1996年2月29日	東北研
		さちのか	促成栽培用の良食味品種です。果実は着色・光沢に優れ、果実硬度が高いため日持ち性・輸送性に優れています。糖度とビタミンC含量が高く、肉質が緻密で、食味は極めて良好です。	全国で400ha（和歌山、山口、徳島、香川、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎の各県等）以上作付	1996年2月29日	野茶研
キュウリ	きゅうり中間母本農6号	果実の表面にブルーム（白い粉）がなく、果皮の光沢が優れるともに、イボやトゲもない系統です。本中間母本を育種素材として用いることで、果皮の光沢が優れ、果実表面が滑らかなキュウリ品種の育成が可能となります。		2011年4月1日	野茶研	
	きゅうり中間母本農5号	インドの雑草キュウリ「CS-PMR1」に国内品種およびオランダ品種「Rira」を交雑し育成した素材です。温度条件にかかわらず安定したうどんこ病抵抗性を持っています。		2007年8月14日	野茶研	
	きゅうり中間母本農4号	中国導入品種「新昌白皮」と国内品種から育成した良食感素材です。果肉硬度が高く果肉が厚いためパリパリ感が優良です。		2006年8月22日	野茶研	
サツマイモ	すいおう	茎葉を野菜として利用する新タイプのサツマイモ品種です。茎葉はくせがなく、ホウレンソウのようにしておいしく食べられます。ミネラルやビタミンは葉物野菜より多く、ポリフェノールやルテインなどの機能性成分も豊富です。	鹿児島県鹿屋市	2001年8月1日	九州研	
スイカ	すいか中間母本農1号	市販品種の雌花着生数に比べて、およそ2倍の両性花を着生します。本系統は、雌花あるいは両性花の着生数が多く、短期間での集中着果が容易なスイカ品種を育成するための育種素材として利用できます。		2008年5月29日	野茶研	
	姫しずか	果皮は薄いものの、硬く、物理的な耐裂果性を有する小玉スイカです。機械選果が可能で、輸送性も高いです。果肉も硬く割れにくいため、日持ちが良く業務用にも利用可能です。糖度は高く、外観も良好です。		2001年9月5日	野茶研	
タマネギ	クエルリッチ	北海道での栽培に適した、抗酸化性物質であるフラボノイド（ケルセチン）を既存品種より25%ほど多く含む赤タマネギです。貯蔵性も優れ翌春まで出荷が可能です。	北海道の優良品種として主に栗山町で生産	2006年8月22日	北農研	
トマト	とまと中間母本農11号	「盛岡7号」、「桃太郎8」から育成した短節間性系統です。非心止まり性があり、果実は150～200g、果色は桃色です。	研究機関で短節間のモデル植物として利用	2006年8月22日	野茶研	
	とまと中間母本農9号	「金剛」、「LS1811-2」等から育成した青枯病強度抵抗性系統です。抵抗性の程度は「LS89」と同程度です。果色は桃色、果重は160～200g程度です。	民間種苗会社等で青枯病抵抗性素材として利用を検討	2000年7月10日	野茶研	
	にたきこま	洋食のほか、中華や和食など広範囲な加熱調理に適したクッキングトマト品種です。心止まり性で、へたがないため省力栽培が可能です。果実の保存性は良く、完熟後1週間程度の常温保存が可能です。	東北地方を中心に、各地で少量ずつ生産	2000年6月29日	東北研	

分類	品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名	
野菜	とうがらし (ピーマン)	L4-027	モザイク病 (PMMoV) の土壌病害に対して抵抗性を有する生食用ピーマン F1 品種です。植物体の特性が「京鈴」に類似し、収量性は「京鈴」と比べ同等またはやや優れます。	本品種は、PMMoVによる被害激発地での利用を目的に開発。現在、本品種を利用するほどの被害はなく、栽培面積は少ない	2009年3月30日	野茶研
		台パワー	疫病、青枯病およびモザイク病 (PMMoV) の土壌病害に対して強度の抵抗性を有する台木用トウガラシ品種です。本品種を台木として用いることで、臭化メチルを使用せずに、ピーマン等を栽培することが可能となります。	栽培面積は約17ha 京都府、山形県、長野県などで普及	2008年5月29日	野茶研
	ナス	とげなし輝楽	受粉しなくても果実が肥大する「単為結果性」と「とげなし性」を併せ持つ品種です。単為結果性を持つため、労働時間の15%削減が可能で、また、とげがないため快適に栽培作業や調理ができます。	栽培面積は約900a 愛知県西三河地域を中心に普及	2008年11月11日	野茶研
		台三郎	青枯病および半枯病に抵抗性のナス台木用固定品種です。「台太郎」と同様に接ぎ木が容易で、「台太郎」と同等またはそれ以上の青枯病抵抗性を有するほか、「台太郎」よりもやや草勢が強いです。	京都府等へ普及中 H22年の推定普及面積は2.5ha	2003年8月11日	野茶研
		台太郎	青枯病および半枯病に抵抗性のナス台木用F1品種です。トルバム・ビガーよりも発芽と初期生育が優れ、接ぎ木が容易です。穂木品種の収量および果実品質はトルバム・ビガー台のものと同様以上です。	ナスの主要台木品種として、全国1000ha以上に普及	1995年3月29日	野茶研
	ナバナ	はるの輝	野菜用のナタネ (なばな) 品種です。葉面にロウ質がないために光沢が強く、甘みがあって食味が良いです。耐寒性に優れており、東北北部以北での栽培に適しています。	北海道、岩手県で生産	1993年8月27日	東北研
	ネギ	ねぎ中間母本農1号	ネギの最重要病害の1つであるさび病に対して従来品種よりも強い抵抗性を持っています。		2011年3月31日	野茶研
	ハクサイ	はくさい中間母本農9号	根こぶ病抵抗性を有するハクサイの系統です。DNAマーカー選抜による根こぶ病抵抗性品種育成の母本として利用できます。	育種素材として種苗会社5社、千葉県、石川県で使用	2009年4月23日	野茶研
		はくさい中間母本農8号	花芽分化の低温感受性が弱く、長日感受性が強い「つげな中間母本農2号」を素材とした極晩抽性ハクサイ系統です。苔立ちがたいへん遅いので春どり栽培でも無加温や保温資材を使用することなく栽培できます。		2005年8月11日	野茶研
		はくさい中間母本農7号	「Homei」および日本型ハクサイ6品種から育成した素材です。小孢子培養において高い再分化能を有し、草姿は中間、球高はやや大、球重は小です。		2001年11月26日	野茶研
メロン	アルシス	病害 (うどんこ病・つる割病) と害虫 (ワタアブラムシ) に抵抗性があり、果実品質と日持ち性が優れます。病害虫の防除回数を減らすことができるため、減農薬栽培に貢献できます。	熊本県の農家で試作中	2011年6月15日	野茶研	
	アールス輝	わが国初の虫害抵抗性 (ワタアブラムシ抵抗性) を持つアールス系メロンです。うどんこ病にも強いいため省農薬栽培が可能です。美しい外観を持ち、果実の香りと糖度は高いです。収穫後、3-7日で食べ頃となります。	兵庫県や神奈川県などの農家で栽培	2004年10月27日	野茶研	
	メロン中間母本農4号	雑草メロン「LB-1」とノーネットメロン「伊麗白」から育成した短側枝性の素材です。黄皮白肉、ノーネット、果重600~900g、糖度10~12程度です。		2000年6月29日	野茶研	
ヤーコン	サラダオカメ	多収でフラクトオリゴ糖を多量に含んでいます。イモの肉色がオレンジ色で甘みが強いです。	北日本を中心に、全国で生産	2003年8月11日	近農研	
	アンデスの雪	多収でフラクトオリゴ糖を多量に含んでいます。イモの亀裂は少なく、肉色が白く貯蔵性に優れています。	北日本を中心に、全国で生産	2003年8月11日	近農研	
	サラダオトメ	アンデス高地原産のヤーコンを日本での栽培に適するように人工交配で育成した初めての品種です。在来種と比較して、収量性、貯蔵性が高いです。	北日本を中心に、全国で生産	2000年6月29日	近農研	
レタス	フユヒカリ	国内で利用されているレタスビッグベイン病抵抗性品種よりも強い抵抗性を有する、秋まき厳寒期どり用の品種です。秋まき厳寒期どり用の代表品種「シスコ」と比べ、2割以上の増収が期待できます。	2011年より種苗会社から種子を本格的に販売開始 兵庫県、徳島県で試作中	2008年9月19日	野茶研	
飼料作物・牧草	アカクローバ	リョクユウ	ナツユウよりも永続性に優れた最新の品種です。再生時の競争力が強いいため、混播相手のイネ科牧草も再生力の強いオーチャードグラスやチモシー極早生品種が適しています。	北海道の優良品種で、種子増殖中	2010年10月5日	北農研
		ナツユウ	既存品種と比べて、永続性が改善された品種です。競合力も穏やかで、チモシーとの混播草地においてもチモシーを抑制することなく、草地を良好に保つことができます。	北海道の優良品種として栽培	2001年11月16日	北農研
	アルファルファ	ハルワカバ	アルファルファの安定栽培が難しいとされていた気候の厳しい地域での栽培に適した品種です。多収であり、永続性と越冬性に優れています。	北海道の優良品種として栽培	2003年8月11日	北農研
	エンバク	九州15号 (商品名: さきがけ)	立ち型で既存品種中では出穂が最も早く、従来の夏播き用品種より遅播きが可能であるため、イタリアンライグラスとの混播などで年内の収量を確保する栽培に適します。	カネコ種苗から販売	2007年9月25日	九州研
九州16号 (商品名: つばめ)		耐倒伏性に極めて優れた極早生品種です。	カネコ種苗から販売	2007年9月25日	九州研	
九州14号		既存品種中では出穂が最も早く、九州地域では9月下旬の播種でも年内に出穂し、既存品種より多収です。	タキイ種苗から販売	2007年9月4日	九州研	

分類	品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名	
飼料作物・牧草	エンバク	たちあかね	耐倒伏性が極めて強い夏播用極早生品種です。越冬中の葉枯れ程度が小さく、秋播き・翌春収穫の体系にも適しています。	九州（特に南九州）を中心とする低標高地域に適します。各民間種苗会社から販売。	2004年8月11日	九州研
	オーチャードグラス	はるねみどり	越冬性と春秋の収量性に優れ、早春から晩秋まで長期間利用できる寒地・寒冷地向けの早生品種です。	北海道の優良品種として栽培	2005年8月11日	北農研
		ハルジマン	1番草収量と耐病性に優れた寒地・寒冷地向けの中生品種です。	北海道、青森県および山形県の優良品種として栽培	2001年8月28日	北農研
ギニアグラス	ナツコマキ	踏圧抵抗性に優れたロールベール用極早生品種です。	各民間種苗会社から販売中	1999年6月16日	九州研	
飼料イネ	たちじょうぶ	いもち病抵抗性、耐倒伏性が強く栽培しやすい北海道向きの飼料米・稲発酵粗飼料兼用品種です。北海道での熟期は極晩生です。	北海道で栽培	2010年9月8日	北農研	
	なつあおば	極早生で多収の稲ホールクロープサイレージ用品種です。熟期の異なる飼料用稲品種と組み合わせることで、飼料用稲収穫機の稼働面積を拡大して、刈り取り作業の効率化を図ることができます。また、刈り遅れによるサイレージ品質の低下を防ぐとともに、後作小麦の播種作業の遅れを回避できます。	埼玉県で栽培	2010年5月24日	中央研	
	まきみずほ	暖地向きの早生のサイレージ用品種です。暖地の普通期栽培では、食用品種の「ヒノヒカリ」より前に黄熟期収穫が可能です。また晩植(7月下旬植え)でも収量が確保しやすく、黄熟期収穫が可能です。	福岡県でサイレージ用として試作中	2009年5月13日	九州研	
	モグモグあおば	九州地域向きサイレージ・飼料米兼用品種です。ニシアオバより耐倒伏性が強く、地上部全重がより多収です。大粒で、子実も一般食用品種より20～30%多収です	福岡県でサイレージ用として試作中	2009年5月13日	九州研	
	ルリアオバ	早植えして、夏に1回収穫し、再生してきた2番草を秋に再度収穫できる茎葉型の2回刈り専用品種です。2回の収穫を合わせた全乾物収量は、WCS専用種の「タチアオバ」に優ります。栽培適地は九州南部です。	鹿児島県、宮崎県でサイレージ用に作付け	2009年4月15日	九州研	
	きたあおば	北海道向きの飼料米・稲発酵粗飼料兼用品種です。熟期は中生の早（きらら397並）です。	北海道で栽培	2008年6月9日	北農研	
	北陸193号	耐倒伏性が極強く、大穂のインド型品種で、収量性は「日本晴」より2割程度増収し、極多収です。農家レベルで1000kg/10a以上の粗玄米収量の事例があります。	新潟県、埼玉県、兵庫県、富山県、石川県、宮崎県、熊本県で栽培	2007年6月14日	中央研	
	タチアオバ	九州平坦部向きの、極晩生の稲発酵粗飼料用品種です。太い根を持ち直播でも倒れにくく、最高で2t/10a以上の乾物収量が期待できます。	福岡県、熊本県の平坦部を中心にサイレージ用として作付け	2006年8月22日	九州研	
	リーフスター	長稈で、茎葉多収型の稲発酵粗飼料向き品種です。玄米収量は少ないですが、地上部全重が多く、牛に給餌すると未消化物の排泄量が少なくなり、いもち病圃場抵抗性が強い。温暖地では極晩生です。	関東から九州にかけての広い範囲で主に乳牛用として栽培され、2010年で500ha程度の栽培面積があると推定される。	2005年9月6日	作物研	
	ニシアオバ	九州地域向け稲発酵粗飼料用品種です。大粒で食用品種と識別が容易で、こぼれ種からの混種の危険が低い長所があります。	大分県、熊本県の中山間部を中心にサイレージ用として作付け	2005年8月11日	九州研	
	夢あおば	稲発酵粗飼料（ホールクロープサイレージ）向きの品種です。収穫が「コシヒカリ」と競合しない早生で、多収、玄米は大粒です。湛水直播での苗立ちが良好で耐倒伏性は極強で湛水直播栽培に適します。	東北南部、関東・北陸地方で栽培	2004年8月11日	中央研	
	クサノホシ	関東以西に適した晩熟期（「アケボノ」並）の稲発酵粗飼料向きの品種です。	鳥取県、広島県など全国で200～300ha生産	2000年11月15日	近農研	
	ホシアオバ	東北南部以西に適した中生熟期（「日本晴」並）の稲発酵粗飼料向きの品種です。	群馬県、鳥取県、広島県など全国で200～300ha生産	2000年11月15日	近農研	
クサホナミ	長稈の極穂重型の飼料用品種です。茎葉と籾を合わせた全重収量が一般食用品種より高く、稲発酵粗飼料は輸入チモシー乾草並の飼料品質を持っています。温暖地では極晩生です。	島根県などで飼料作物奨励品種に指定。関東から九州にかけての広い範囲で栽培され、2010年で1200ha程度の栽培面積があると推定される。	2000年10月12日	作物研		
飼料サトウキビ	KRFo93-1	新規の長大型飼料作物で、刈り遅れによる栄養成分の劣化や嗜好性の低下がなく、霜の心配のない地域では作業者の都合に合わせて青刈り給与、サイレージ加工に利用できます。刈り株が再生し、永続的な収穫が可能です。	種子島で栽培	2006年8月22日	九州研	
トウモロコシ	北交65号	北海道の道央・道南地域と青森、岩手、宮城の各県に適し、乾物中の雌穂割合と茎葉消化性がともに高い高栄養品種です。初期生育や耐倒伏性、すす紋病抵抗性にも優れています。	北海道の優良品種として栽培	2008年6月9日	北農研	
	Mi91	フリント種です。耐倒伏性に優れ、ごま葉枯病抵抗性および紋枯病抵抗性などの各種障害抵抗性と組合せ能力に優れ、一代雑種品種の親系統として利用できます。	「なつむすめ」の種子親として(独)家畜改良センターで生産	2008年6月9日	九州研	
	CHU44	フリント種です。高茎葉消化性のサイレージ用の一代雑種品種の親系統です。	「タカネスター」の花粉親として(独)家畜改良センターで生産	2005年9月9日	九州研	

分類	品種名	品種の特徴	生産情報	品種登録の出願年月日	研究所名	
飼料作物 ・牧草	トウモロコシ	Na65	やや晩生のデント種の親品種で、ごま葉枯病抵抗性および紋枯病は「強」で、耐倒伏性は「中」です。日本在来フリント種との組合せ能力は一般的な水準です。		2005年8月11日	畜草研
		おおぞら	北海道の道央および道南地域、東北から関東北部にかけての高冷地に適し、多収で、初期生育と耐倒伏性に優れた品種です。	北海道、青森、岩手、茨城等の優良品種として栽培	2002年8月1日	北農研
		ゆめつよし	耐倒伏性と病害抵抗性に優れているトウモロコシ品種です。	長崎県、大分県、宮崎県、山口県、香川県で奨励品種として生産	2001年8月10日	九州研
		Mi44	デント種です。耐倒伏性、ごま葉枯病抵抗性および紋枯病抵抗性が強く、一代雑種品種の親系統として利用できます。	「ゆめつよし」の種子親として(独)家畜改良センターで生産	2001年8月10日	九州研
		Mi62	フリント種です。耐倒伏性に優れ、ごま葉枯病抵抗性などの各種障害抵抗性に優れた一代雑種品種の親系統として利用できます。	「ゆめつよし」の花粉親として(独)家畜改良センターで生産	2001年8月10日	九州研
		ゆめちから	茎葉消化性が高く耐倒伏性が極強(最強レベル)の品種です。	宮崎県、山口県、鳥取県、高知県、香川県で奨励品種として生産	2000年6月29日	九州研
		Na23	晩生～極晩生のデント種の親品種で、ごま葉枯病抵抗性は「強」、紋枯病抵抗性は「中」で、耐倒伏性は「やや弱」です。		1998年4月27日	畜草研
		Na21	やや早生のフリント種の親品種で、ごま葉枯病抵抗性は「中」、紋枯病抵抗性は「やや弱」で、黒穂病抵抗性は「弱」であり、耐倒伏性は「強」です。		1998年4月27日	畜草研
		Mi47	フリント種です。耐倒伏性が極めて強く、ごま葉枯病抵抗性と組合せ能力に優れ、一代雑種品種の親系統として利用できます。	「ゆめちから」の花粉親として(独)家畜改良センターで生産	1998年4月24日	九州研
		ゆめそだち	消化性に優れた多収品種です。	九州、中国、四国の多くの県で奨励品種として生産	1997年4月14日	九州研
	オーチャードグラス	まきばたろう	収量性と耐病性、永続性に優れ、採草・放牧ともに利用可能な府県向けの中生品種です。	種子販売中	2007年9月11日	畜草研
	イタリアンライグラス	中間母本農3号	市販品種と比較して硝酸態窒素濃度が34%低く、市販品種と交配させることにより、容易に硝酸態窒素濃度が低い品種を作出できます。		2010年4月20日	畜草研
	ソルガム	九州交3号	糸黒穂病の発生を回避するための品種ですが、高消化性遺伝子を有する晩生スタンダム型ソルガムであるので、従来の品種と同様に利用できます。	(独)家畜改良センターにおいて海外での種子増殖用のもと種子を増殖中	2010年9月28日	九州研
		JK2	九州交3号の花粉親として利用する以外にも、高消化性遺伝子を有するスタンダムグラスですので、飼料用としても利用できます。		2010年9月28日	九州研
		JNK-MS-6A, 6B	九州交3号の種子親として利用する以外に、高消化性遺伝子を有する雄性不稔系統と維持系統ですので、他のF1雑種の親としても利用できます。		2010年9月28日	九州研
		SIL-05	糖生産力に優れた品種で、既存の高糖性品種に比べ糖収量および日当り糖収量が高く、耐倒伏性は同レベルかそれ以上です。	(株)アースノートから販売	2008年6月12日	九州研
	トールフェスク	エムエステイワン	世界初の花粉を出さない(雄性不稔)トールフェスクです。花粉症の原因(アレルゲン)となる花粉を出しません。道路法面や公園緑地などの緑化用に用いることができます。	雪印種苗株式会社において展示販売用の種子を増殖中	2004年8月23日	畜草研
	フェストロリウム	イカロス	高品質多収で寒冷地に導入可能な採草あるいは採草・放牧兼用の多年生牧草品種です。越冬性に優れるため、東北地域の連続積雪期間が120日までの草地等で利用可能です。		2010年10月27日	東北研
		東北1号	寒冷地の飼料畑、転作田などで3-5年間栽培利用できる、耐湿性の採草用多年生牧草品種です。多収で、消化性、主要な病害抵抗性に優れます。	青森県・岩手県で実証栽培中	2009年7月22日	東北研
	メドウフェスク	まきばさかえ	越冬性と収量性に優れた北海道の土壤凍結地帯向け放牧用品種です。	北海道の優良品種で、種子増殖中	2009年7月17日	北農研

新しいアグリビジネスに、一緒に取り組みませんか。
農研機構では、新たなアグリビジネス創出につながる
様々なお手伝いをいたします。

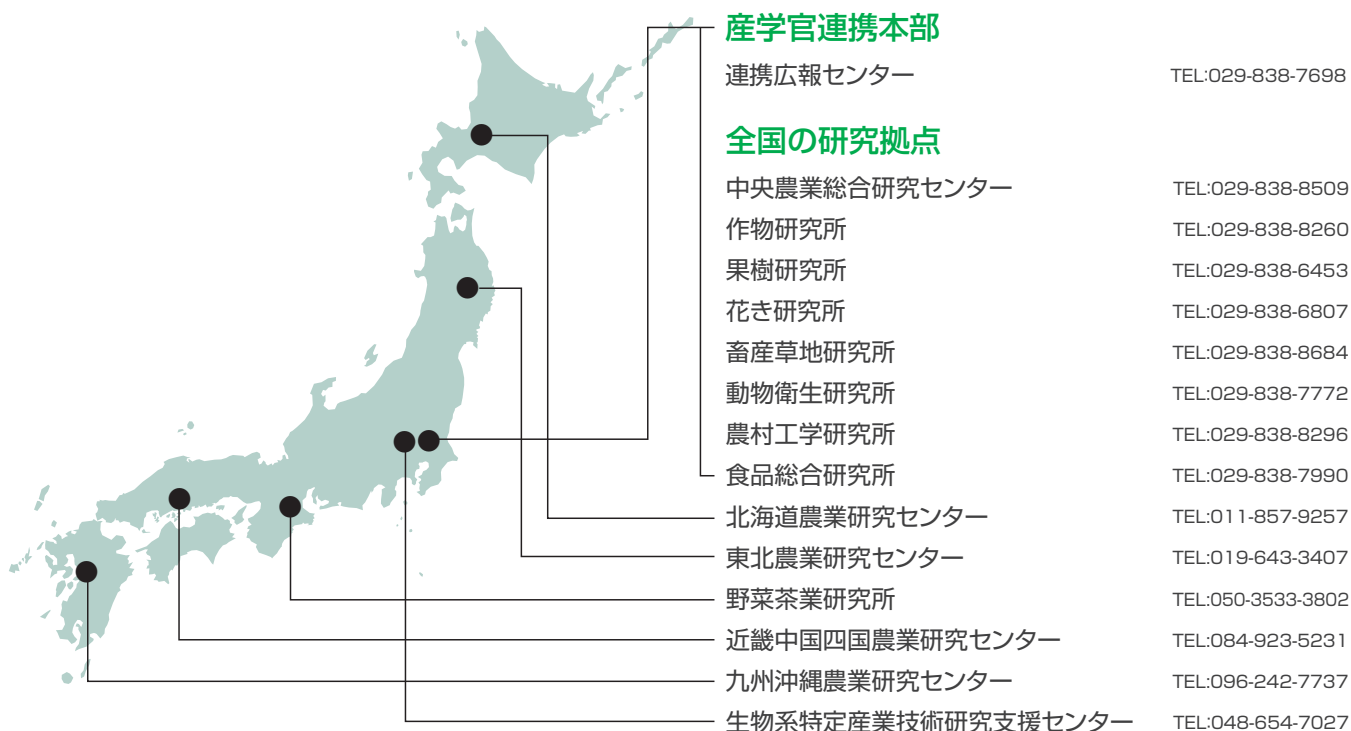
連携広報センターの案内

- 農研機構の研究成果をお届けします。
- 連携広報センターには、コーディネーターが駐在し、皆様とのご相談に応じます。
- 農業生産現場・民間企業等と農研機構との双方向コミュニケーションを実施し、ニーズとシーズのマッチングを行います。
- 新たなアグリビジネス創出のため、連携研究の企画・立案を行います。
- どなたでも参加できる各種セミナー・情報交換会を開催いたします。

農研機構との連携へのご相談・お問い合わせは

〈全国の研究拠点又は連携広報センターへ〉

全国の研究拠点と連携広報センターは、密接に連携し、
ご相談にスピーディーに対応いたします。



NARO

農研機構

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

〒305-8517茨城県つくば市観音台3-1-1
お問い合わせ／連携広報センター
TEL.029-838-7698 FAX.029-838-8982
URL <http://www.naro.affrc.go.jp/>

2013年6月 企画・編集/連携広報センター

○本冊子は、グリーン購入法(国等による環境物品等の調達に関する法律)に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

○リサイクル適正の表示:紙へのリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。